

SKYWORTH

取扱説明書

品名：40V型 地上・BS・110度CSデジタルフルハイビジョン液晶テレビ

室内・家庭用

型番：40E1500G

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
この取扱説明書は大切に保管しておいてください。
弊社サービスセンターにお問い合わせの際には製品背面のラベル
に記載されております製品型番と製造番号をお確かめください。

HDMI®



安全上のご注意	1
使用上のお願い	4
テレビを取り出す際のご注意	5
同梱品の確認	5
各部名称	6
リモコンの送信部と受光部について	10
テレビスタンドの取り付け	11
壁掛け金具で取り付ける	12
テレビを設置する	13
テレビ番組を楽しむ	16
データ放送を楽しむ	20
外部入力の画面に切り替える	21
便利な機能を使う	22
文字を入力する	24
録画・予約機能について	26
録画用 USB ハードディスクの接続をする	27
USB ハードディスクの設定をする	28
録画の基本的な設定をする	30
番組を録画する	31
日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする	32
予約・録画の優先順位と予約の動作について	33
録画した番組を再生する	34
インターネットを利用するための接続をする	36
インターネットを利用するための設定をする	37
チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	39
お買い上げ時の設定に戻すには	40
メニュー	41
トラブルシューティング	46
保証とアフターサービス	49
主な仕様	50
付録	51

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みにになり、注意事項をお守りください。

表示の説明

 危険	この表示の注意事項を守らないと、特に、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。 なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

絵表示の例

行為を禁止する絵表示



禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示



注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示



コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

危険

異常が発生した場合



コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、煙が出なくなったことをご確認の上、弊社サービスセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異音が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、異音が出なくなったことをご確認の上、弊社サービスセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、発熱がなくなったことをご確認の上、弊社サービスセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

使用中、落下や衝撃により破損したら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社サービスセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

異臭が出たら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガ、やけどの危険がありますので、異臭が出なくなったことをご確認の上、弊社サービスセンターへご連絡ください。



コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災やケガの危険がありますので、弊社サービスセンターへご連絡ください。

※電源プラグをすぐ抜けるように容易に手が届く位置のコンセントを使用してください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告

使用について



禁止

落下や衝撃により破損したら、使用しないでください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。弊社サービスセンターへご連絡ください。



禁止

業務用途としては使用しないでください。
長時間のご使用は、過負荷による故障の原因となり、火災や感電の危険がありますので、業務用途でご使用の際は、事前に、弊社サービスセンターへご連絡ください。

電源について



AC100V以外
使用禁止

電源ケーブルは、100ボルト交流電源(AC100V)のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。
日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

本製品では、付属の電源ケーブルのみを使用してください。他の製品の電源コードや市販の電源コードなどを使用すると火災や感電の危険があります。
また、付属の電源ケーブルを他の製品で使用しないでください。



定期的に
プラグを掃除

電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。
電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。



コンセントから
プラグを抜く

電源プラグのお手入れは、電源ケーブルをコンセントから取り外して行ってください。
電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。



定格超過
禁止

コンセントや延長ケーブル、OAタップなどの定格を超えてご使用にならないでください。
タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。



コード傷つけ
禁止

電源ケーブルのコードは、傷つけないでください。
ものをのせたり、引っばったり、ねじったりなど、無理に取り扱くとコードが傷つき、火災や感電



禁止

電源ケーブルに傷や裂け、割れ、ちぎれなど破損がある場合は、ご使用にならないでください。
破損した電源ケーブルから発熱や放電することにより、火災や感電の危険があります。



落雷時は
触れない

落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。
感電の危険があります。



濡れた手で
触れない

濡れた手で電源プラグに触れないでください。
感電の危険があります。



破損コンセント
使用禁止

破損したコンセントをご使用にならないでください。
コンセントに電源プラグをしっかり差し込んで、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。



コード引っ張り
禁止

電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。
コードを引っばると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



コンセントから
プラグを抜く

アース線の接続は、事前に電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線の取り外しは、事前に電源プラグをコンセントから取り外してから行ってください。
感電の危険があります。

安全上のご注意

設置について



不安定な場所に置かない

不安定な場所に置かないでください。
不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。
以下の点を守って、安全な場所に設置してください。

- 台を使用して設置する場合は、
 - ・ ぐらつきが無い堅固なもの
 - ・ 設置面が平坦で強度のあるもの
 - ・ 製品が台の端からはみ出さないものを使用してください。
- 固定されていない背の高い家具（食器棚や書棚など）に設置しないでください。
- 設置面と本製品の間に布などを敷かないでください。
- 製品の操作のために、設置した台や本製品により登る危険性をお子様に教育してください。
- 製品の保管・再設置する場合にも上記を守ってください。



水濡れ
禁止

水のかかる場所に置かないでください。
雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用や花瓶など水の入ったものを上に置いたりすると、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

通気口をふさがないでください。
通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。



禁止

湿度の高いところに置かないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

異物が浮遊するところに置かないでください。
ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。



禁止

温度の高いところに置かないでください。
熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

使用について



分解や改造
禁止

分解や改造をしないでください。
火災や感電の危険があります。



禁止

子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。
感電やケガの危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

水や異物を入れないでください。
火災の危険があります。



禁止

ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

電池について



禁止

電池を直射日光や火のそばなど高温になる場所や極端に低い気圧になる場所に置かないでください。
破裂や爆発、液漏れやガス漏れなどを起こす場合があります。



禁止

電池は以下の点を守って安全に取り扱ってください。
取り扱いを誤ると、液漏れ、発熱、発火、破裂などにより、火災や周囲の汚染などの原因となります。
また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

- 指定以外の電池を使わないでください。
- 乾電池を充電しないでください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは取り出して下さい。
- 新しい電池と使用した電池を混ぜないでください。
- 種類の違う電池を混ぜないでください。
- 電池を傷つけたり、分解したりしないでください。
- 電池を加熱したり、加圧したりしないでください。
- 電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 電池を乳幼児に取り出せないようにしてください。



禁止

電池の液が皮膚や衣服に付着したら、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流してください。
皮膚障害の危険があります。



禁止

電池の液が目に入ったら、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水でしっかり洗い流し、医師の診察をうけてください。
視力が損なわれたり、失明の危険があります。

■ 使用上のお願い

■ 末永くお使いいただくために

■ 製品の取り扱いについて

- ・製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
- ・電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
- ・製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから取り外さないでください。
- ・視聴の際は、明るい場所で、画面から十分に離れてご覧ください。
- ・疲労や睡眠不足など体調がすぐれないときは、視聴を避けてください。
- ・映像からの刺激により一時的に身体的影響が起こった場合は、視聴をやめてください。
- ・本製品は、24 時間以上の連続使用を想定した設計を行っておりません。
- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。使用頻度や使用環境によって異なりますが、経年変化による消耗、劣化が生じ、動作が不安定になったり、動作しなくなる場合があります。
(主な有寿命部品：液晶パネル、バックライト、電源ユニット)

■ 製品のお手入れについて

- ・お手入れの際は、事前に電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。
- ・汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
- ・ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
- ・化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
- ・ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
- ・殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
- ・ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
- ・シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

■ 製品の温度について

- ・密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が暖くなる場合がありますが、故障ではありません。
- ・製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。

■ 結露（つゆつき）について

- ・温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
- ・結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
- ・結露が起こった場合、電源を切ったまま放置し、結露が乾いてから使用してください。
- ・寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

■ 磁気や電磁妨害について

- ・磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
- ・電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
- ・磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

■ しばらく使用しないときは

- ・長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

■ 免責事項

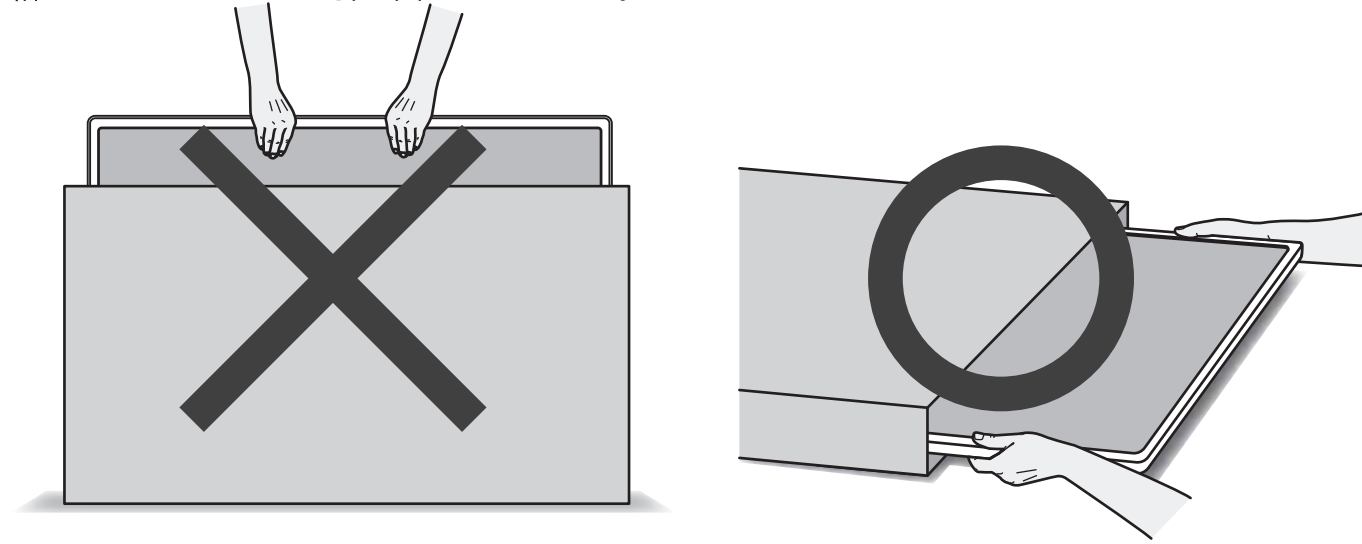
- ・取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
- ・記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

■ テレビを取り出す際のご注意

テレビ本体は重量があるため、箱からそのまま垂直にテレビを取り出そうとすると、落下によるケガや破損する危険があります。

また、テレビの外縁部や液晶パネル部を握りしめて持ち上げることによって、圧力により液晶パネルが破損する危険があります。

テレビを取り出す際は、箱を寝かせた状態でテレビの下部もしくはサイドを持ち、握りしめずに箱からスライドさせて引き出してください。



■ 同梱品の確認

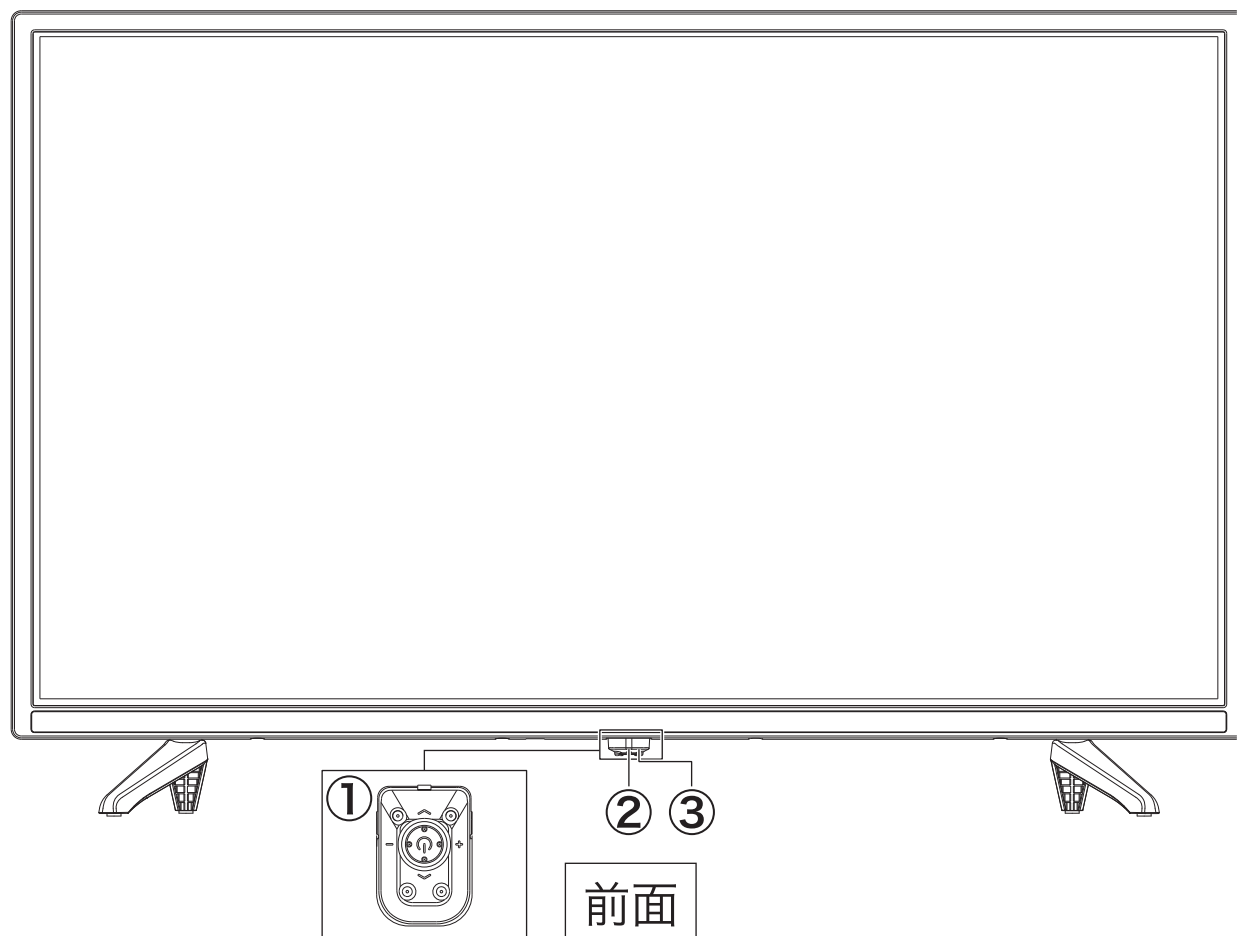
パッケージの中に下記のものがすべて入っているか、ご確認ください。

- 液晶テレビ本体
- 専用リモコン
- リモコン用乾電池(単4形乾電池×2※テスト用)
- 専用電源コード
- 3in1 AVケーブル
- mini B-CASカード
- mini B-CASカードカバー
- mini B-CASカードカバー用ネジ
- 取扱説明書
- テレビスタンド×2
- テレビスタンド取付用ネジ×4

※アンテナケーブルは付属しておりませんので、別途ご用意ください。

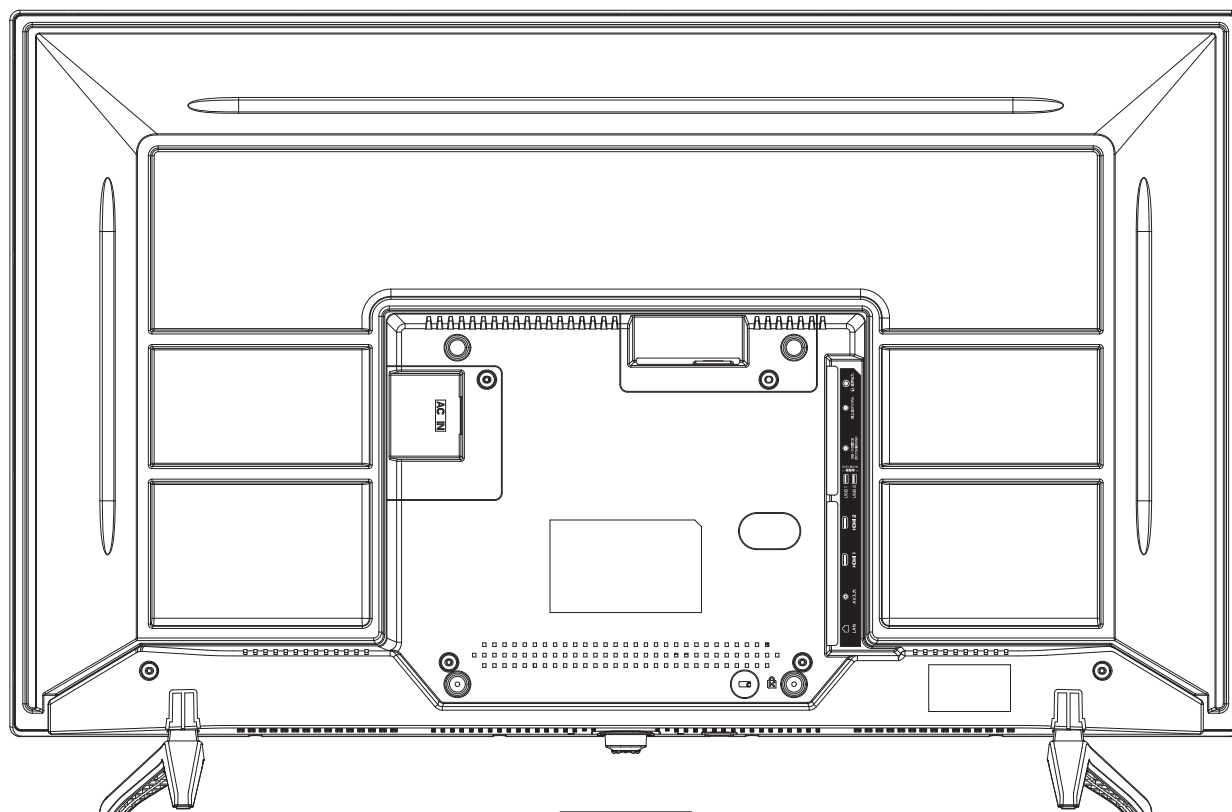
※テレビスタンドの取り付けには、プラスドライバーが必要です。別途ご用意ください。

本体



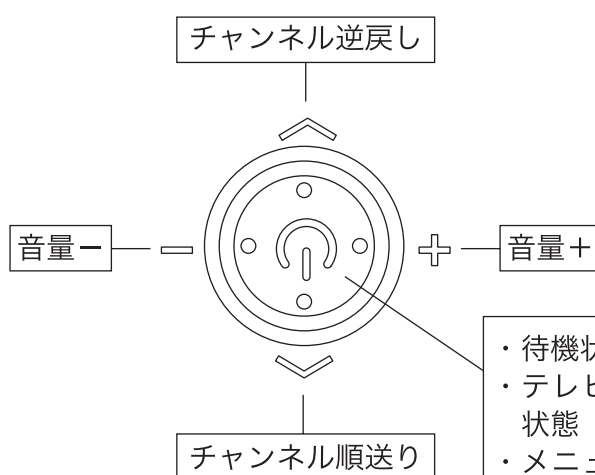
- ① マルチ操作ボタン
- ② リモコン受光部
- ③ 電源 LED

本体



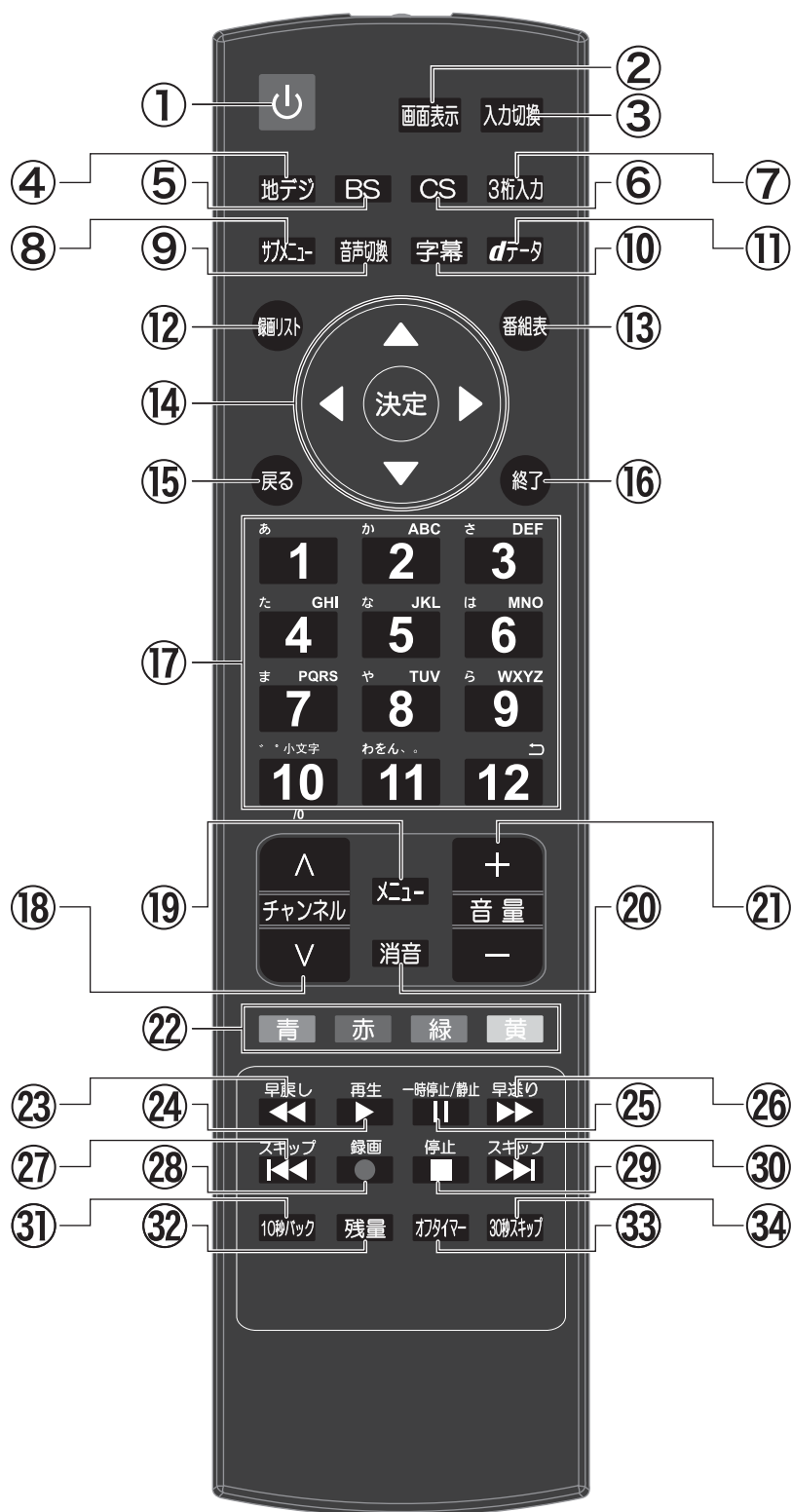
背面

マルチ操作ボタンの機能



- ・待機状態で短く押すと電源ON
- ・テレビ視聴中に長く押すと待機状態
- ・メニュー画面を表示していないときに短く押すと入力切換画面を表示
- ・メニュー画面表示中に短く押すと項目を選択

リモコン



① 電源

電源のオン・待機を切り替えます。

② 画面表示

現在視聴している番組の情報と現在時刻を表示します。

③ 入力切換

表示する映像を

テレビ放送/HDMI1/HDMI2/ビデオに切り替えます。

④ 地デジ

視聴する映像を地上デジタル放送に切り替えます。

⑤ BS

視聴する映像を BS 放送に切り替えます。

⑥ CS

視聴する映像を CS 放送に切り替えます。

⑦ 3桁入力

チャンネル切替を 3 桁の番号指定で行います。

⑧ サブメニューボタン

サブメニュー画面を表示します。

⑨ 音声切換ボタン

音声多重放送の場合に、音声を切り替えます。

⑩ 字幕ボタン

字幕を表示します。

⑪ dデータボタン

データ放送を表示します。

⑫ 録画リスト

メディアプレーヤー録画一覧を表示します。

⑬ 番組表

番組表を表示します。

⑭ ▲▼◀▶ 決定

カーソルの選択、決定に使用します。

⑮ 戻る

メニュー操作中に前の項目に戻ります。

⑯ 終了

メニュー画面や番組表を閉じます。

⑰ 1～12テンキー

チャンネルの直接選局に使用します。

文字や数字の入力にも使用します。

⑰ チャンネル

視聴チャンネルを順送り / 逆戻しします。

⑱ メニューボタン

メニュー画面を表示します。

⑲ 消音ボタン

音量を一時的に 0 にします。

⑳ 音量ボタン

音量を変更します。

㉑ 青、赤、緑、黄

データ放送やメニューの選択に使用します。

また、さまざまな機能ボタンとして使用します。

㉒ 早戻し

録画した番組を早戻し再生します。

㉓ 再生

録画した番組を再生します。

㉔ 一時停止

録画した番組を一時停止します。

㉕ 早送り

録画した番組を早送り再生します。

㉖ スキップ(左)

前のチャプターに移動します。

㉗ 録画

現在視聴している番組を録画します。

㉘ 停止

録画した番組を停止します。

㉙ スキップ(右)

次のチャプターに移動します。

㉚ 10秒バック

録画した番組を10秒戻しします。

㉛ 残量

USB機器一覧を表示します。

㉜ オフタイマー

オフタイマーの設定ができます。

㉝ 30秒スキップ

録画した番組を30秒送りします。

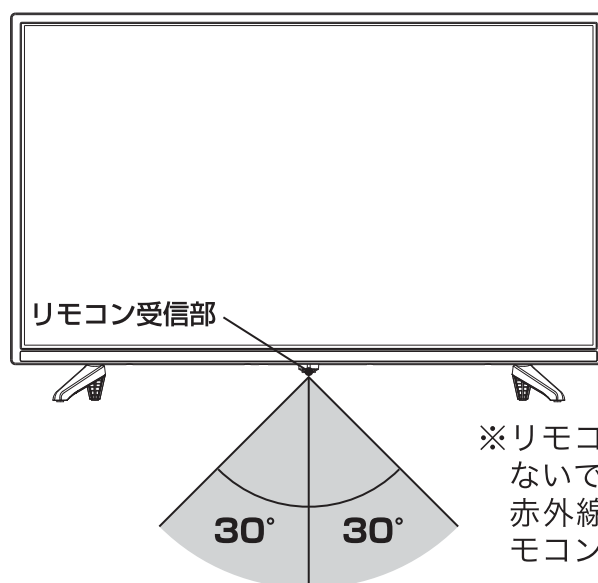
リモコンの送信部と受光部について

リモコンで操作できる範囲

リモコンは、テレビ本体のリモコン受光部正面から下図の範囲でご使用ください。

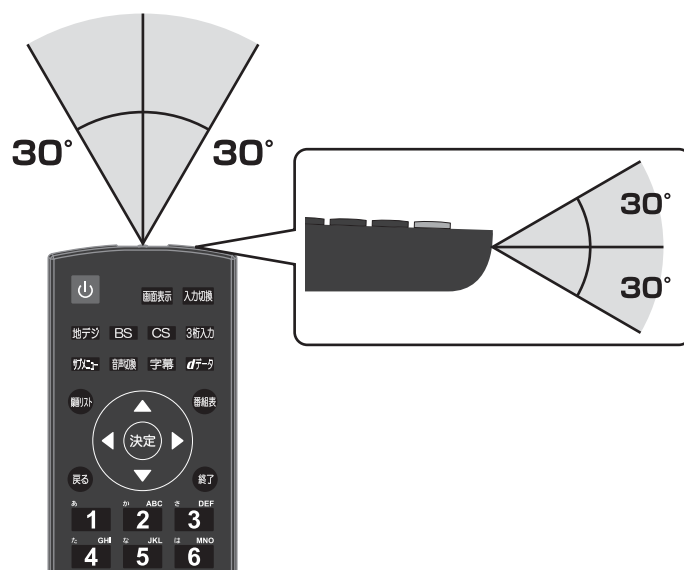
リモコン操作は、テレビのリモコン受信部(本体中央下)に向けて行ってください。

リモコン受信部の受信角度



※リモコン受光部の前にものを置かないでください。
赤外線が遮られることにより、リモコンが動作しなくなります。

リモコン送信部の送信角度



■ テレビスタンドの取り付け

⚠ 注意

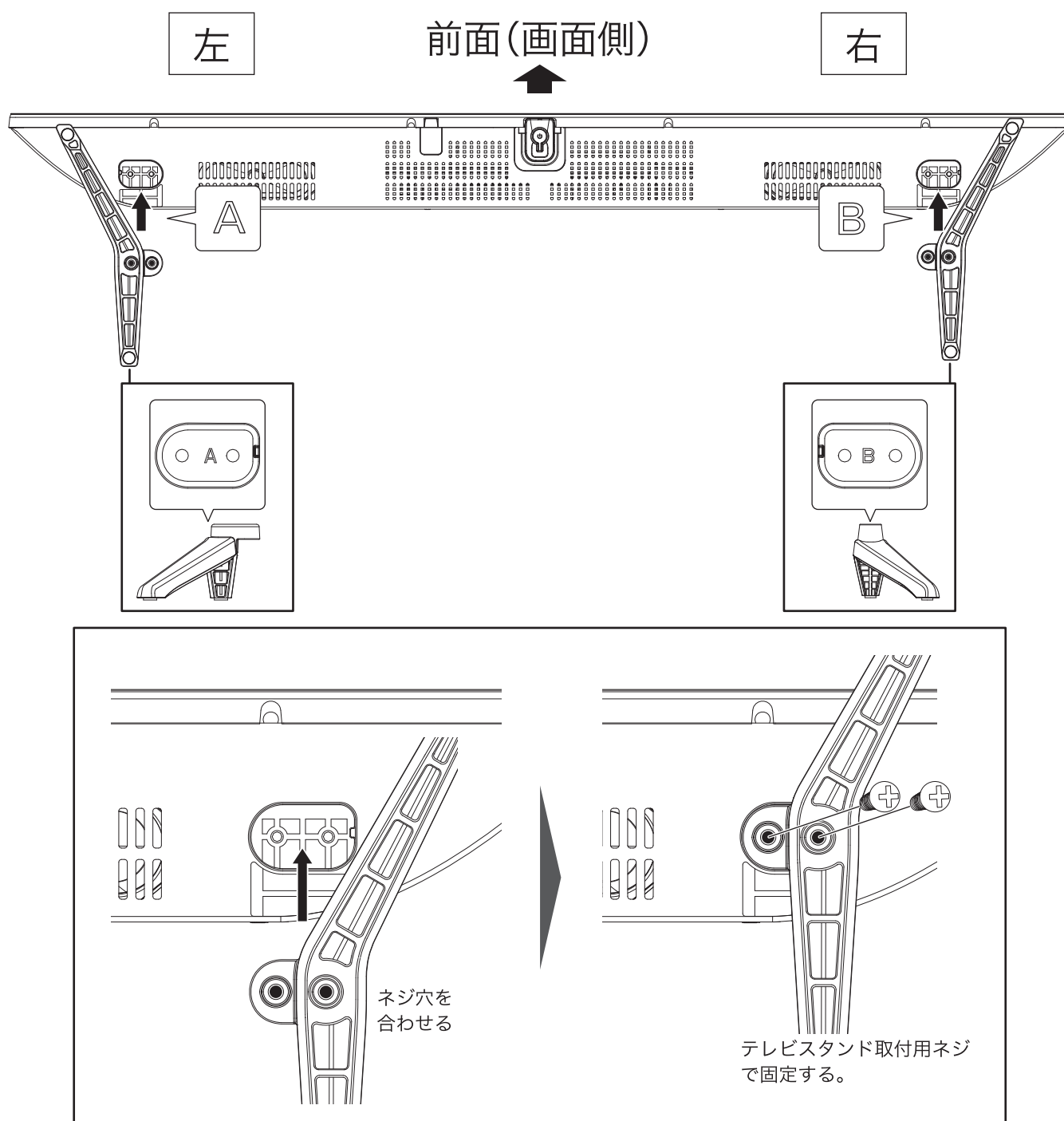
- 必ず2人以上で取り付け作業をしてください。
1人で作業すると、ケガなどの原因となります。
- 画面を押したり、強く握らないでください。
画面を強く押したり、強く握ったりすると、破損するおそれがあります。



●本製品の組み立てにはプラスドライバー(No.2)が必要です。

テレビスタンドは右用と左用があります。

本体とテレビスタンドに A または B の刻印があります。刻印をあわせて取りつけて、テレビスタンド取付用ネジで固定してください。

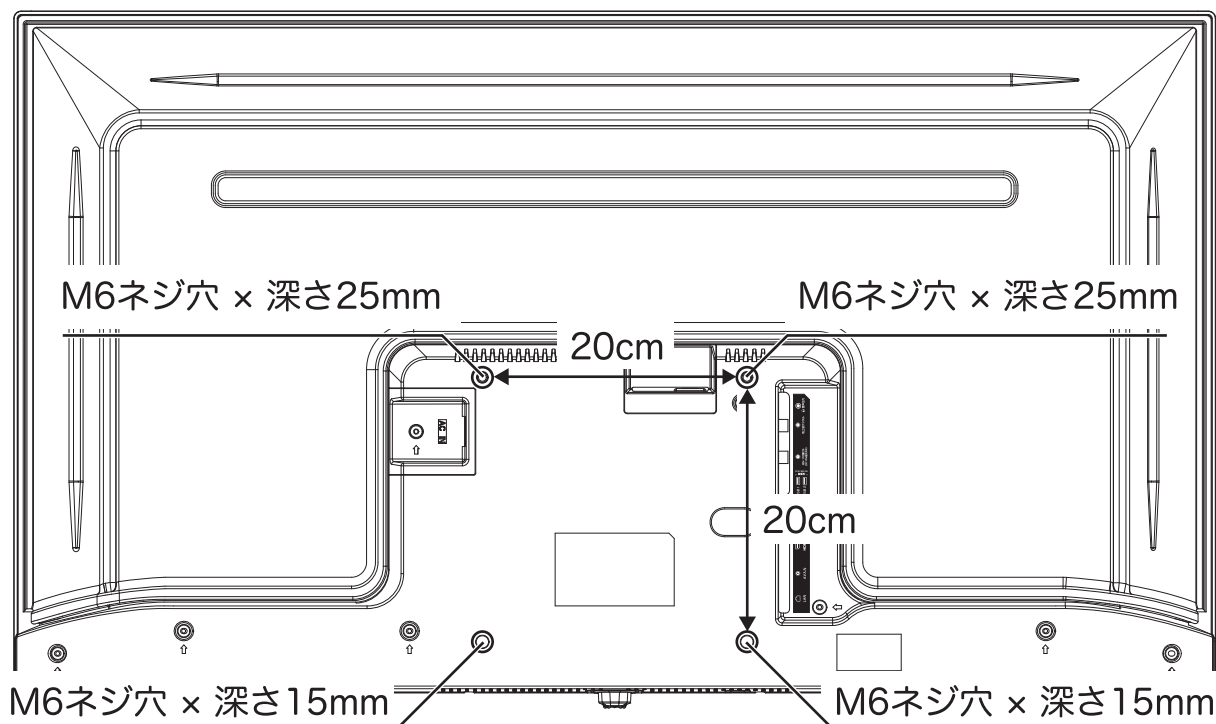


■ 壁掛け金具で取り付ける

⚠ 注意

- 壁掛け金具の取り付けには取り付け後の落下などの危険を考慮し、お客様による施工は行わず、必ず工事業者へ依頼してください。
- 安全のため、取り付け場所の強度は、長期間にわたって本製品と壁掛け金具の荷重に耐えるよう十分に注意の上、施工してください。
- 通気のため壁から5cm以上離して設置してください

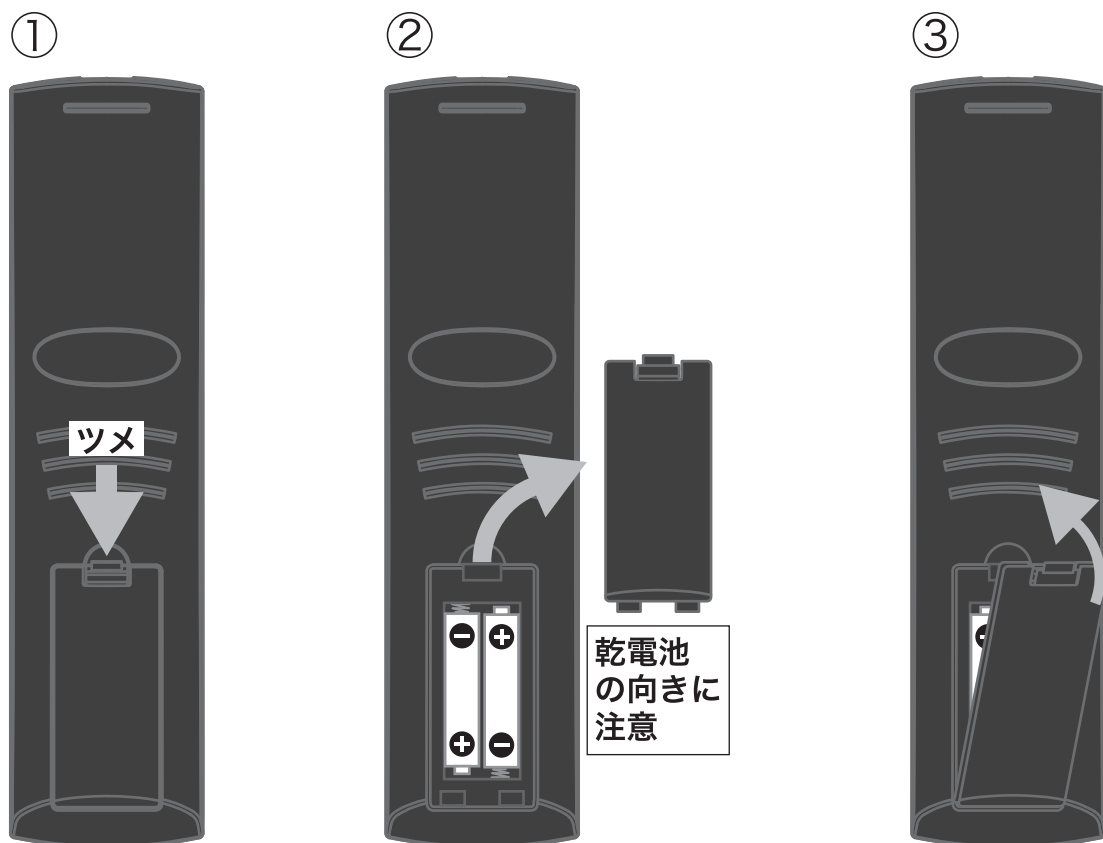
付属のテレビスタンドを使用せずに、壁掛け金具や壁よせスタンドを使用する場合は、本体背面のVESA200×200(20cm×20cm M6ネジ上部25mm 下部15mm)のネジ穴をご利用ください。具体的な取付方法は、取り付け業者や、金具・スタンドの取扱説明書をご確認ください。



■ テレビを設置する

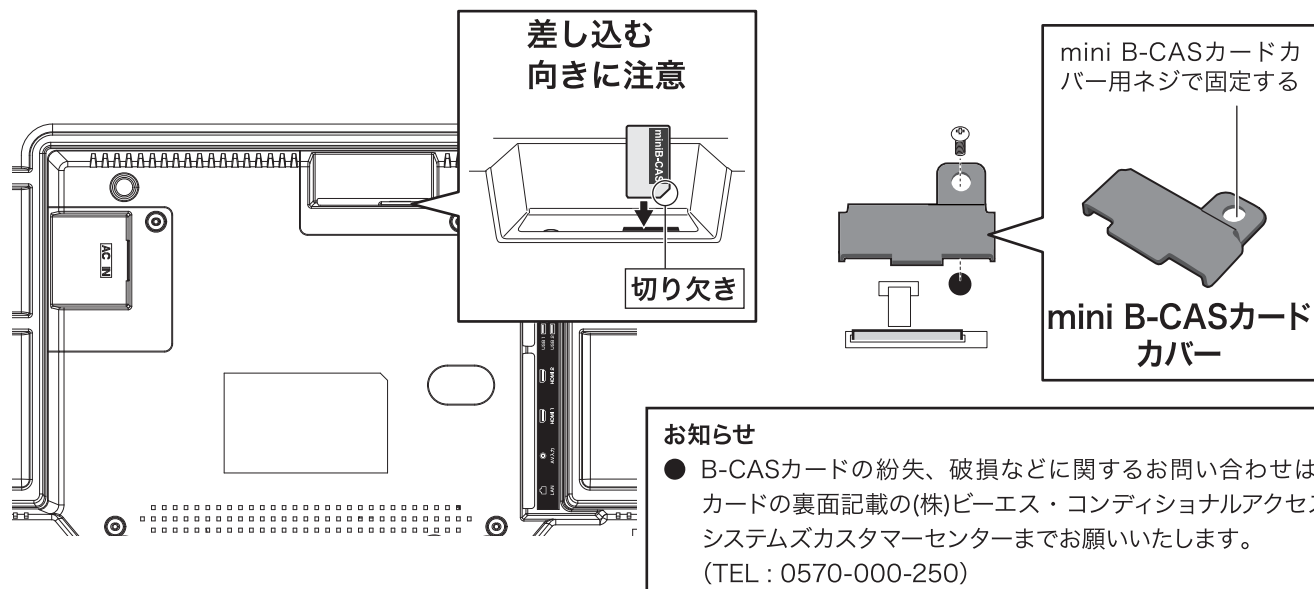
1 リモコンに乾電池を入れる

- ①矢印のツメを押して、電池カバーを押し上げる。
- ②+ 極、- 極の向きを確認し、正しい向きに単 4 形乾電池 2 本を入れる。
- ③電池カバーがカチッと音がするまで押して閉める。



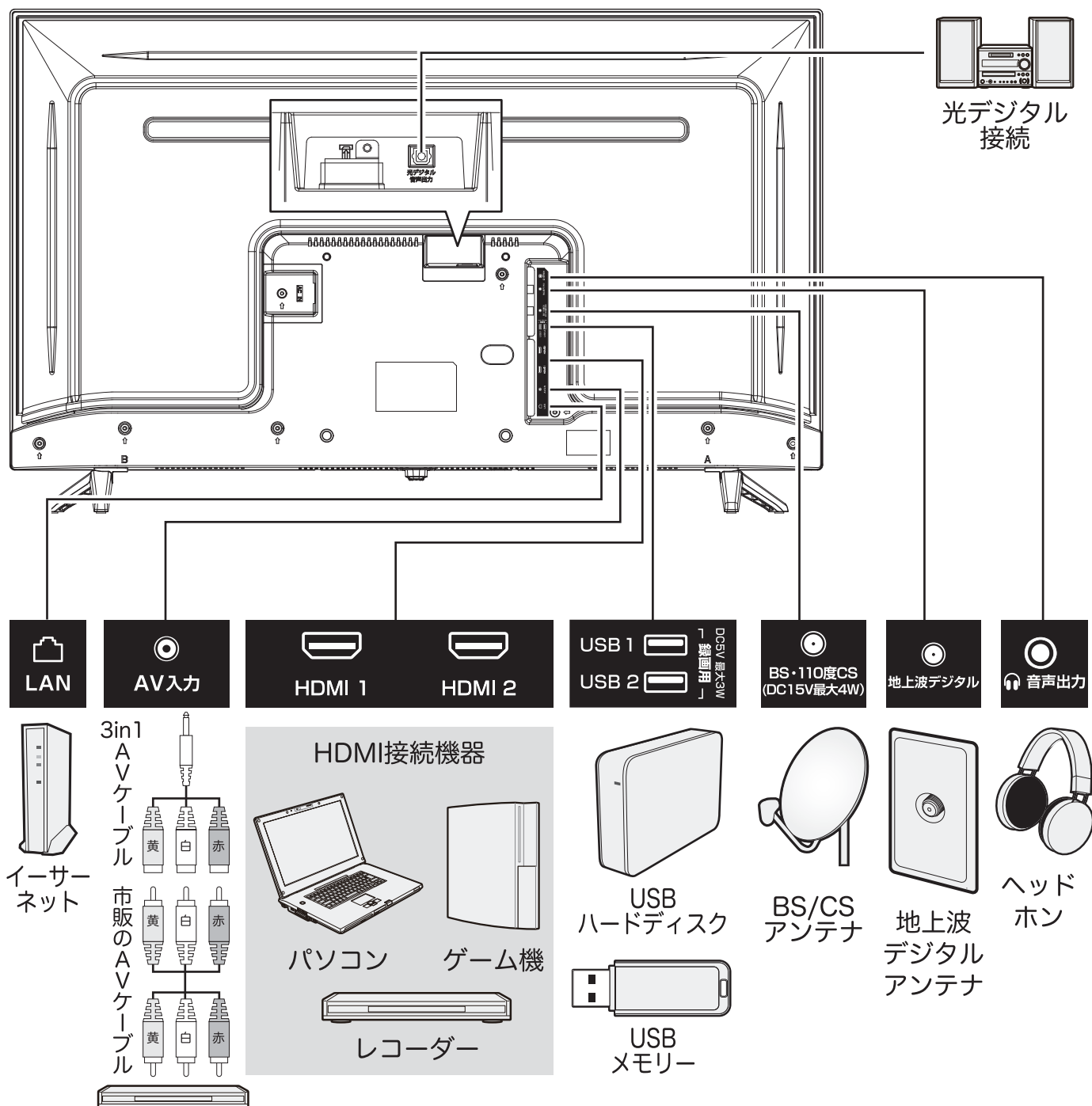
2 miniB-CAS カードを差し込む

- miniB-CASカードを本体背面のminiB-CASスロットへ入れます。
- mini B-CASカードカバーを取り付けて、mini B-CASカードカバー用ネジで固定します。
- miniB-CASカードは、図のように端子のある面を本体側に向け、切り欠きがあるほうから差し込んでください。



テレビを設置する

3 アンテナ・各種機器を接続する

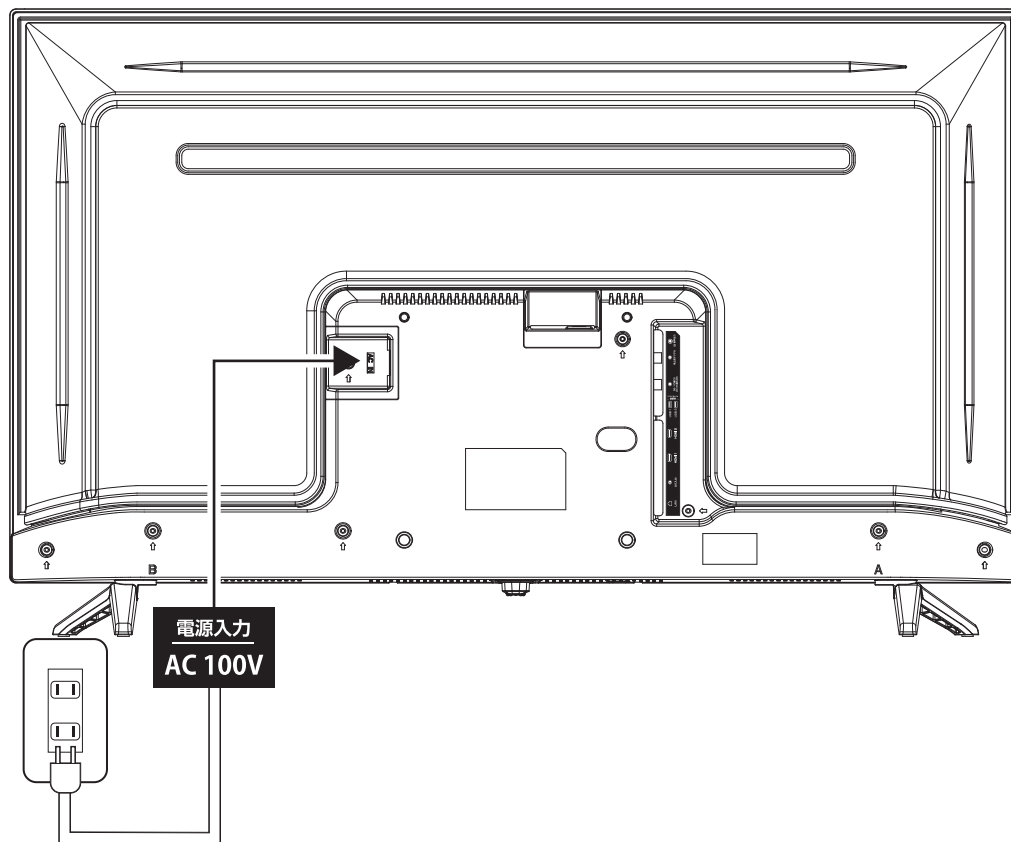


アナログ接続 (コンポジット)

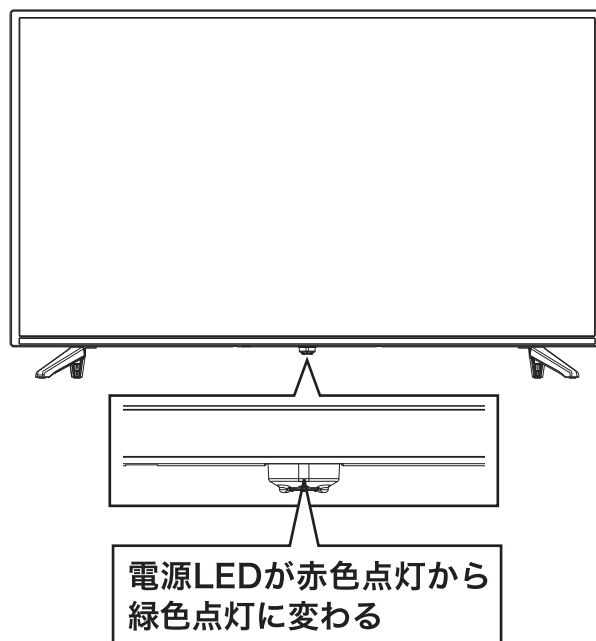
※アナログ接続を使用する際には付属の専用ビデオ入力変換コネクタと市販のAVケーブルを使用して接続してください。

■ テレビを設置する

4 本体に付属の電源ケーブルを接続し、コンセントに差し込む



5 電源をオンにする



●テレビの起動には、20秒ほどかかる場合があります。

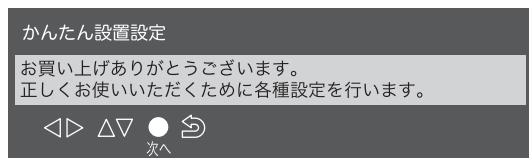
テレビ番組を楽しむ

「かんたん設置設定」について

お買い上げ後、miniB-CAS カードを入れてはじめて電源を入れたときは、「かんたん設置設定」で、お住まいの地域に適したチャンネルを設定します。

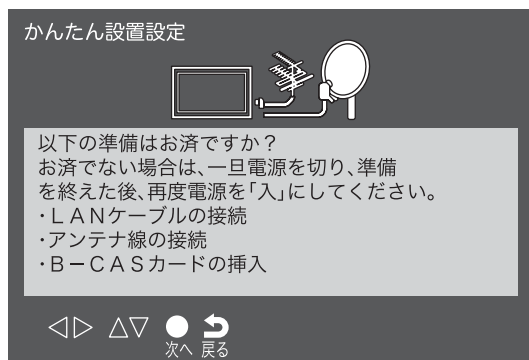
1 アンテナの接続とminiB-CAS カードが挿入されているのを確認し、電源を入れる

- 「かんたん設置設定」が表示されます。

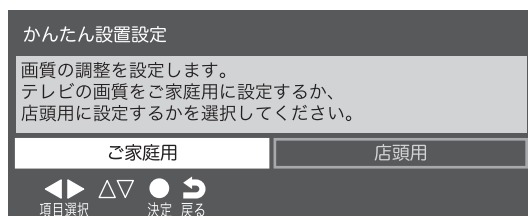


2 決定を押して、表示された内容を再度確認して再び決定を押す。

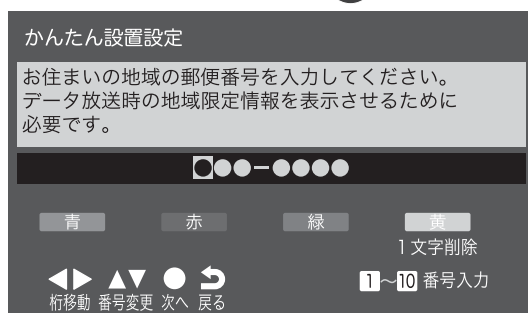
- 「かんたん設置設定」が表示されます。



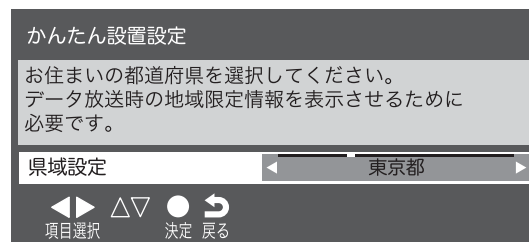
3 左右の矢印で「ご家庭用」を選び、決定を押す



4 上下の矢印、左右の矢印、または1～10でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を押す

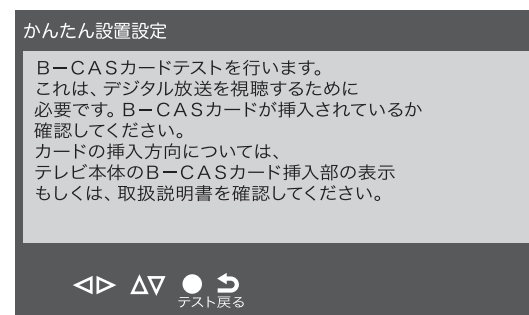


5 左右の矢印でお住まいの都道府県や地域を選び、決定を押す

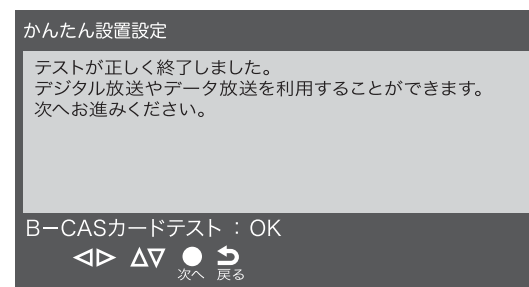


データ放送受信のための地域設定を行います。

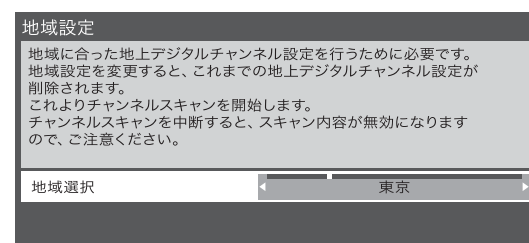
6 決定を押し、miniB-CASカードテストを行う



テストが終わると結果の画面が表示されますので、決定を押します。



7 左右の矢印でお住まいの都道府県や地域を選び、決定を押す

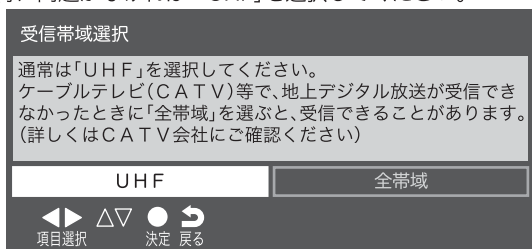


地上デジタル放送のチャンネル設定のための地域設定を行います。

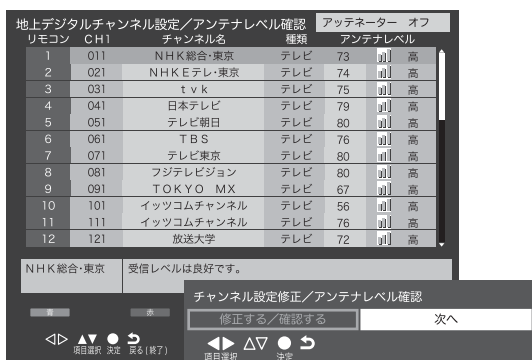
テレビ番組を楽しむ

8 ◀▶で受信帯域を選び、決定を押す

- 特に問題がなければ「UHF」を選択してください。

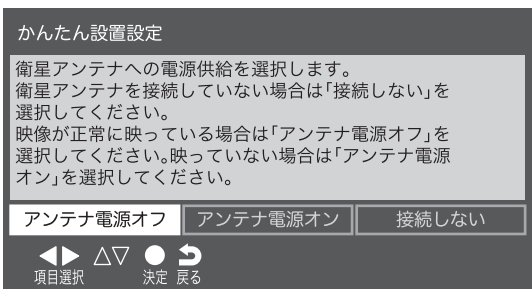


地上デジタル放送チャンネルの初期スキャンが始まりますので、終了するまでしばらくお待ちください。
スキャンが終わると、地上デジタル放送チャンネルの設定内容を確認する画面が表示されます。

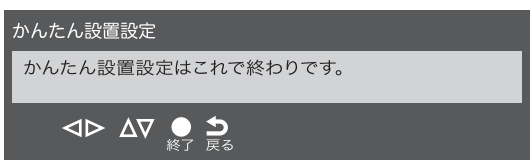
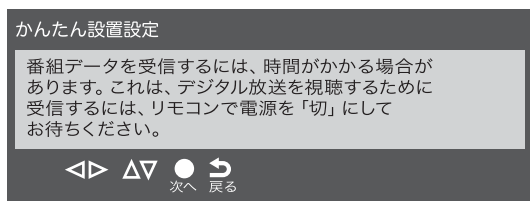


- 戻るを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。
- 自動設定された内容を変更したい場合は、「設置設定」で設定し直すことができます。
- 「修正する/確認する」を選択するとリモコンのボタン割り当てを変更することができます。

9 衛星アンテナへの電源供給方法を選び、決定を押す



番組データを受信します。
「かんたん設置設定はこれで終わりです。」と表示されたら決定を押します。



お知らせ

■「地上デジタルチャンネル設定」について

- 「かんたん設置設定」や「初期スキャン」をすることで、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをテレビが探し、リモコンの1～12に自動設定します。「かんたん設置設定」や「初期スキャン」をしないと、地上デジタル放送は受信できません

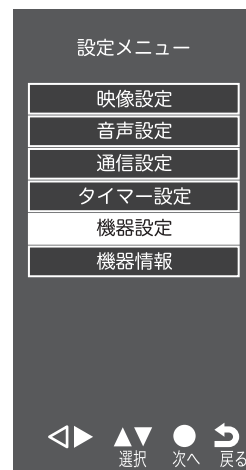
■地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、「かんたん設置設定」で設定された地方、地域に基づいて行われます。
- 地域に密着したデータ放送を視聴するために郵便番号を設定します。

「かんたん設置設定」をやり直す

「かんたん設置設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をした後で「かんたん設置設定」をやり直すことができます。

1 戻るボタンを押し▲▼で「機器設定」を選び、決定を押す



2 ▲▼で「かんたん設定」を選び、決定を押す



3 「かんたん設置設定」の画面が表示されるので、P16「かんたん設置設定について」にしたがって操作してください。

テレビ番組を楽しむ



リモコンで番組を選ぶ

1 地デジ BS CS で放送の種類を選ぶ

- 視聴している放送と同じ種類の放送を視聴する場合、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の三通りの選局方法があります

ワンタッチ選局ボタンで選局する（ワンタッチ選局）

- ワンタッチ選局ボタン **1** ～ **12** で選局します（下の「お知らせ」をご覧ください）

※BSデジタル放送やCSデジタル放送の視聴には専用アンテナの設置とアンテナケーブルの接続が必要になります。

チャンネル $\wedge$ $\vee$ ボタンで選局する（順次選局）

- $\wedge$ $\vee$ でチャンネルが順次に切り替わります。

チャンネル番号を入力して選局する（ダイレクト選局）

チャンネル番号は番組表で確認できます。

- ① **メニュー** を押し、 $\blacktriangle$ $\blacktriangledown$ と **決定** で「3桁入力選局」と進む

・視聴中の放送の種類に応じて、3桁入力選局の画面が表示されます。



- ② **1** ～ **10** でチャンネル番号を入力する

例 103 チャンネルを選ぶ場合 **1** **10** **3** の順に押します（「0」は **10** で入力）

・入力した番号を消すには、**黄** を押します。

■枝番のついた放送一覧が表示された場合は、放送を選択してください。

■リモコンの **3桁入力** キーを押してもダイレクト選局が行えます。



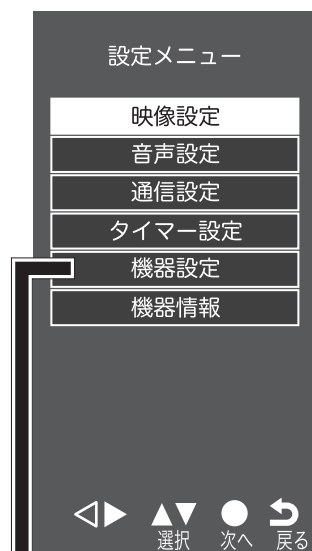
- **1** ～ **12** でワンタッチ選局ができるのは下記のとおりです。

- ・**地デジ** を押したとき→「はじめの設定」で各ボタンに登録されたチャンネル
- ・**BS** を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル
- ・**CS** を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル（**1** と **2** のみ）

- 番組表のサブチャンネルを表示/非表示にするにはメニューの「機器設定」→「その他の設定」→「選局対象」を切り替えます。

メニューについて

- **メニュー** や **サブメニュー** を押してメニューを表示し、さまざまな便利機能を使うことができます。
- メニューで選択できる項目は入力の種類や外部機器の有無やテレビの動作状態によって変わります。
選択できない項目は、薄く表示されます。



映像設定	お好みに合わせて映像を設定したり画質を調整したりできます。
音声設定	お好みに合わせて音声を設定したり音質を調整したりできます。
通信設定	双方向サービスを利用するために必要なインターネットへの接続を設定します。
タイマー設定	日時を指定した録画予約や自動で電源を入れたり切ったりする設定をします。
機器設定	外部機器の設定や本製品のシステム設定などをします。
機器情報	機器の ID 情報を表示します。



USB 機器管理	登録したUSBハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。
録画設定	録画をするときの設定をします。
視聴制限設定	視聴制限年齢の設定をします。
表示の設定	字幕設定などの設定をします。
HDMI設定	HDMI機器を接続した時の動作を設定します。
かんたん設定	チャンネルの設定や登録をします。
設置設定	放送の受信チャンネルや地域設定などの設定をします。
システム設定	B-CAS情報やルート証明書などを表示したり、放送メールを確認します。
その他の設定	文字入力設定と選局するチャンネルを設定します。

データ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物したりすることができます。(電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **data** を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、**data** を押します。



- 放送データの取得中はボタンを押しても反応しないなど一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などでは「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットへの接続と設定を行ってください。双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、しばらく操作がすぐにできないことがあります。
- テレビの動作中に電源プラグを抜くと、テレビが記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

■ 外部入力画面に切り替える

- 本機の外部入力端子（HDMI 1～2、ビデオ入力）に接続したDVD・ブルーレイディスクプレーヤー / レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、「外部機器を接続する」をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 入力切換 を押す

3 入力切換 を繰り返し押すか、▲▼を押して入力を選ぶ

- 入力切換を押すたびに以下のように切り替わります。

→ テレビ放送 → HDMI1 → HDMI2 → ビデオ →

- ・▲▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り替わります。

4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。



- HDMI1～2は解像度Full HD(1920×1080)まで対応しています。
- 対応している入力信号であっても映像が表示されなかったり、正しく表示されない場合があります。
- パソコンと接続する場合のリフレッシュレートは60Hzを推奨します。
- ARC対応機器との接続には、HDMI1をご使用ください。

便利な機能を使う

他の映像・音声・データを切り替える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り替えることができます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに主音声と副音声に切り替わります。
- サブメニューの「信号切換」でも音声の切り替えができます。

音声を切り替える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声 1、音声 2 などの音声信号を切り替えることができます。

1 音声切換を押す

- 音声切換を押すたびに以下のように切り替わります。
→ 音声 1 → 音声 2 → 音声 3 …
- サブメニューの「信号切換」(次の説明)でも音声の切り替えができます。

映像、音声、データを切り替える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があります、お好みで選択することができます。

1 信号切換を押し▲▼と決定で「信号切換」を選ぶ

2 切り替える信号を▲▼で選び、決定を押す

- 視聴中の番組で切り替えのできない信号は、薄く表示されます。

信号切換	
マルチビュー	主番組
映像	映像 1
音声	解説放送
二重音声	主
データ	データ 1
字幕	オン
字幕言語	日本語
◀▶ ▲▼ ● ↺ 選択 設定変更 戻る	



■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消され、基本の信号を選択した状態になります。
音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

3 視聴したい映像、音声、データを▲▼で選び、決定を押す

- 「信号切換」に表示される「音声」、「二重音声」は、音声切換で選択する機能と同じです。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに使えます。

1 一時停止/静止を押す

- 映像が静止します。
- 解除するときは、もう一度一時停止/静止を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。



- データ放送視聴中はデータ放送が解除されて静止します。
- 映像の静止中のデータ放送の操作は静止画が解除されます。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は停止しません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切りかわると静止画が解除される場合があります。

■ 便利な機能を使う

タイマー設定をする

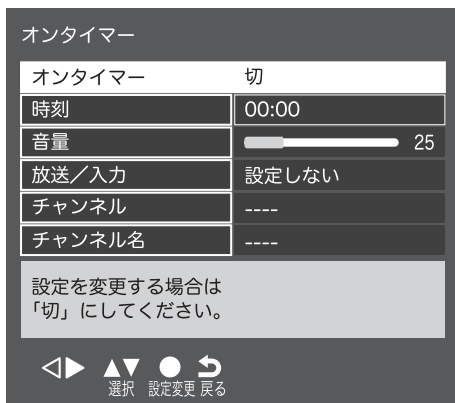
オンタイマー

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」→「オンタイマー」の順に進む

2 **▲▼**、**1**～**12**、**決定** で「時刻」「音量」「放送/入力」「チャンネル」を入力し「オンタイマー」を「入」にする

3 本製品の電源を切る



- 「オンタイマー」が「入」のときは時刻等の変更はできません。

オフタイマー

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押し

2 **メニュー** を繰り返し押しして時間を設定する

→ オフ → 30分後 → 60分後 → 90分後 →

無操作電源オフ

- 約4時間、無操作状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「無操作電源オフ」を選び「入」にする

無信号電源オフ

- 約10分、信号を受信しない状態が続くと自動で電源が切れて、待機状態になります。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「タイマー設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「無信号電源オフ」を選び「入」にする

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホン使用時の音量を設定します

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「音声設定」→「ヘッドホン音量」を選ぶ

2 **◀▶** で音量を調整します。



- 「音声同時出力」を「する」に設定するとヘッドホンとテレビのスピーカーの両方から音が出ます。

外部スピーカーで聴く

- 音声を本機のスピーカーで再生するか、接続した HDMI 機器で再生するかを設定します。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「HDMI機器設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「HDMI 機器選択」を選び使用する機器を選択する

3 **▲▼** と **決定** で「スピーカー選択」を選び「外部」にする

文字を入力する

- ハードディスクの表示名を変更するなど文字を入力する場合に、文字入力画面が表示されます。

入力方法を選ぶ

- 画面に表示されるキーボードで入力するかリモコンのボタンで入力するかを選びます。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「機器設定」→「その他の設定」→「文字入力設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「入力方法」を選び「画面キーボード」か「リモコンボタン」を選ぶ

変換方式を選ぶ

- 通常方式か予測方式を選びます。

1 **メニュー** を押し **▲▼** と **決定** で「その他の設定」→「文字入力設定」を選ぶ

2 **▲▼** と **決定** で「変換方式」を選び「通常方式」か「予測方式」を選ぶ

画面キーボードでの文字入力

- 画面に表示される文字入力キーボードで文字を入力します。

通常方式

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	かな
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	青 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切替
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

予測方式

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	かな
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	青 終了
キーボード移動	!	っ	え	、	れ	ゝ	め	へ	ね	て	せ	け	え	緑 文字切替
入力位置移動	?	わ	お	。	ろ	ゝ	も	ほ	の	と	そ	こ	お	黄 文字クリア

カーソルの移動

- 決定** 文字選択
- 青** 変換
- 赤** 確定 / 終了
- 緑** 文字切替
- 黄** 文字クリア

かな ひらがなや漢字を入力
カナ カタカナを入力
英数 英字や数字を入力
数字 数字を入力

※「数字」は文字入力モードがリモコンボタンのときのみ選択できます

リモコンボタンでの文字入力

通常方式

本機の名称変更

本機の名称を入力し、決定ボタンを押してください。
半角24文字まで入力できます。

グリーンハウス

かな

緑 文字切替

黄 文字クリア

予測方式

本機の名称変更

本機の名称を入力し、決定ボタンを押してください。
半角24文字まで入力できます。

グ

具合

口

ぐらい

緑 文字切替

黄 文字クリア

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

→ **2** (ABC) **10** (小文字) **4** (6回) **2** (5回) **1** (3回)
 が っ こ う

- 文字に続けて **10** を押せば、濁点 (゛) や半濁点 (゜) の入力ができます。

- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に **▶** を押します。

入力例：あい

→ **1** **▶** **1** (2回)
 あ い

- 入力文字の種類を変えるときは、**緑** を押します。

- 変換中の文字を一つ前の順序の文字に戻したいときは、**12** を一回押します。

- 文字を挿入するには、挿入する場所を **▲▼◀▶** で選んで入力します。

- スペースを入力するときは、**11** を6回押します。

文字を変換する

- 漢字に変換しない場合は **決定** を押します。
- 漢字に変換する場合は **▼** を押し変換したい漢字を探します。
- 変換したい漢字が見つからない場合は **◀▶** で変換する範囲を替えて **▼** を押して変換したい漢字を探します。
- 変換したら **決定** を押して確定します。

文字を入力する

リモコン入力文字一覧

●最後の候補まで進むと、最初の候補に戻ります。

リモコン	入力文字の種類			
	かな	カナ	英数	数字
 1	あいうえおあいうえお 1	アイウエオアイウエオ 1	@./:~_#\$\$%*+=^1	1
 2	かきくけこ 2	カキクケコ 2	abcABC2	2
 3	さしすせそ 3	サシスセソ 3	defDEF3	3
 4	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
 5	なにぬねの 5	ナニヌネノ 5	jkIJKL5	5
 6	はひふへほ 6	ハヒフヘホ 6	mnoMNO6	6
 7	まみむめも 7	マミムメモ 7	pqrsPQRS7	7
 8	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8	tuvTUV8	8
 9	らりるれろ 9	ラリルレロ 9	wxyzWXYZ9	9
 10	ゝ ˚ ´ ˘ 。 ? ! ・ () 0	ゝ ˚ ´ ˘ 。 ? ! ・ () 0	-,;'"()?!&\\ <>[]{}0	0
 11	わをんわー	ワヲンワー	(スペース)	*
 12	逆方向へ入力※1	逆方向へ入力※1	逆方向へ入力※1	#

※1: 文字入力変換で通り過ぎた場合に、逆方向へ戻します。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- テレビ背面のUSB（録画専用）端子に接続したUSB ハードディスクにデジタルテレビ放送番組を録画できます。
（データ放送、外部入力（HDMI1 ～ HDMI2、ビデオ入力）で視聴している動画の映像・音声は録画できません）
- ・ USB ハードディスクの接続は次ページをご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク	・ USBハードディスクの電源を入れておきます。 ・ USBハードディスクの残量を確認します。 ※ 残量不足や番組数超過（3000件を超える）になる場合は、事前に不要な番組を削除します。

USBハードディスクは、テレビに登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をするときに接続した機器が選択できない場合は、USBハードディスクを登録してください。
- USBハードディスクの登録のしかたはP.28を確認してください。
- USBハードディスクはバスパワー方式ではなく、専用のACアダプタを接続するセルフパワー方式のものを接続してください。

※ USBハードディスクの最大予約件数は64件です。最大録画番組数は3000件です。

推奨外付けハードディスク

- 以下の USB ハードディスクを推奨品としています。

東芝	I-O DATA	バッファロー	ELECOM
THD-200V2	RHDM-Uシリーズ	HD-PCTU2(J)シリーズ	ELD-QEN020UBK
THD-300V2	HDCA-Uシリーズ	HD-ALU2(J)シリーズ	ELD-ERH020UWH
CANVIO PREMIUM (HD-MBシリーズ)	AVHD-URシリーズ	HD-LBVU3シリーズ	SGD-NZ030UBK(WH)
CANVIO CONNECT (HD-PFシリーズ)	HDCL-UT3.0KF	HD-WLU3/R1シリーズ	ELD-QEN2020UBK
CANVIO CONNECT (HD-PFシリーズ)	EX-HD2CZ	HD-AMU3/Vシリーズ	ELD-QEN2040UBK
CANVIO BASICS (HD-ACシリーズ)	AVHD-URS2	HD-AMCU3/Vシリーズ	ELD-CED010UBK
CANVIO BASICS (HD-ACシリーズ)	AVHD-AUTB2	HDX-LSU2/Vシリーズ	ELD-CED020UBK
CANVIO DESK (HD-ED/EFシリーズ)	HDCZ-UT2K	HD-NRLC2.0-B	ELD-CED030UBK
CANVIO DESK (HD-ED/EFシリーズ)	AVHD-AUTB1S	HDV-SQ2.0U3/VC	ELD-CED040UBK
CANVIO DESK (HD-ED/EFシリーズ)	AVHD-AUTB2S	HD-LL2.0U3-BKF	ELD-ETV010UBK
ロジテック	AVHD-AUTB3S	HD-LC2.0U3-BKF	ELD-FTV010UBK
LHD-EN20U3BSM	AVHD-AUTB4S	HD-LE1U3-BA	ELD-FTV020UBK
シリコンパワー	AVHD-WR2	HD-LE2U3-BA	ELD-FTV040UBK
SP030TBEHDS06A3KTV	AVHD-WR3	HD-LE3U3-BA	ELD-GTV010UBK
Marshal	AVHD-WR4	HD-LE4U3-BA	ELD-GTV020UBK
HDDEX3200-H3	HDCZ-UTL2KC	HD-EDS2U3-BC	ELD-GTV040UBK
	HDCZ-UTL3KC	HD-EDS3U3-BC	ELD-JOTV020UBK
	HDCZ-UTL4KC	HD-EDS4U3-BC	ELD-JOTV040UBK
	HDCZ-UTL6KC	HD-EDS6U3-BC	



● USBハードディスクについて

USBハードディスクは使用状況によっては数年で故障する可能性があり、テレビに接続したUSBハードディスクに録画した内容の長期保存には適していないため、一時的な保存・再生機能としてご使用ください。



- USBハードディスクへの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画したテレビ番組は正しく保存されません。
- 予約録画の開始時に自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- テレビの故障や受信障害などによって正常に録画・再生できなかった場合の補償、損失、損害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- すべてのUSBハードディスクには、対応しておりません。

録画用 USB ハードディスクの接続をする

- テレビにUSB ハードディスクを接続し、登録することで、テレビ番組の録画、録画予約、録画したテレビ番組の再生ができます。



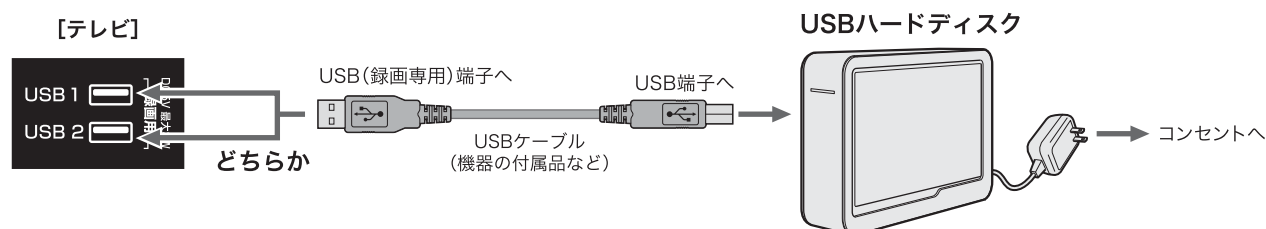
- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクをテレビに接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- テレビで使用していたUSB ハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があり、テレビで録画した番組はすべて消去されます。
- テレビに接続したUSBハードディスクを取り外す場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の手順で「機器の取りはずし」の操作をしてください。
- 録画したテレビ番組が消去されたり、USBハードディスクが故障したりする原因となるため、USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。
- 登録可能なUSBハードディスクの容量は1台あたり4TBまでです。

USB ハードディスクを接続する

- USB ハードディスクは専用のAC アダプタを接続してご使用ください。

USB ハードディスクが1 台のとき

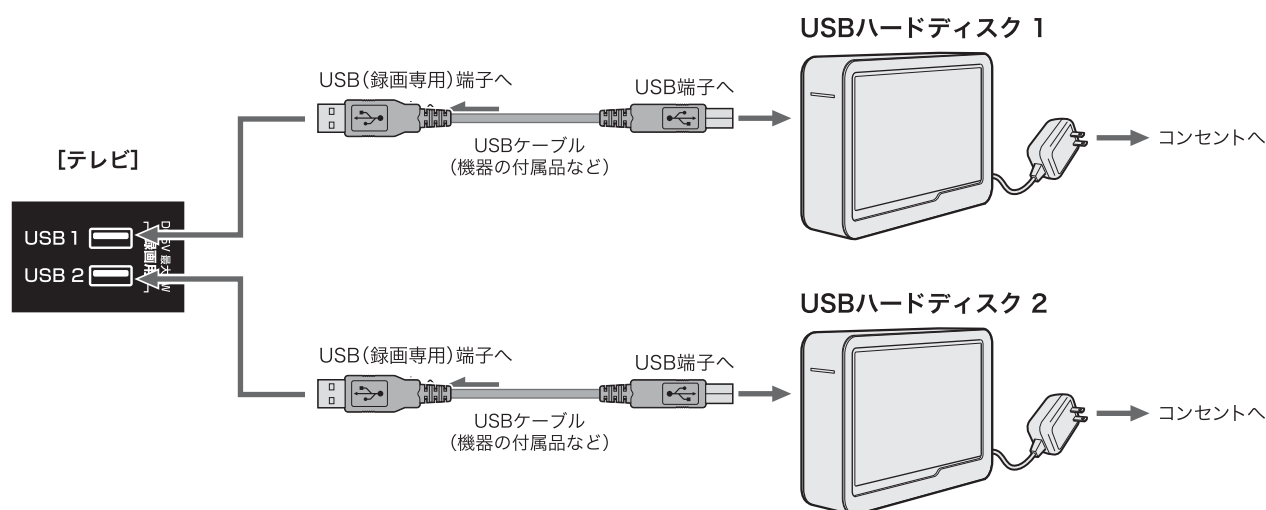
- USB ハードディスクは、USB（録画専用）端子に接続します。



USB ハードディスクが複数のとき

- 本製品はUSBハブをご使用になれません

※ 本機には8台までのUSBハードディスクを登録でき、そのうちの2台のUSBハードディスクを接続しておくことができます。



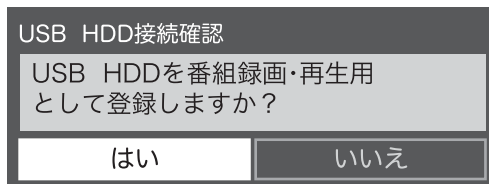
- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態でテレビの電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理を行ってから次のUSBハードディスクを接続してください。

■ USB ハードディスクの設定をする

USB ハードディスクをテレビに登録する

- テレビが未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順でテレビに登録します。

1 ◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

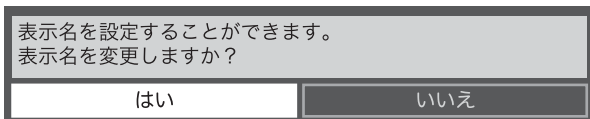


2 このテレビでのみ再生可能であることの確認画面で◀▶で「はい」を選び **決定** を押す

3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 初期化と登録が始まります。

4 表示名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す



- 変更する必要のない場合は「いいえ」を選びます。「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されるので、表示名を入力して決定を押します。
半角 24 文字まで入力できます。

5 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- 録画や予約をするときに、録画機器の初期候補が登録したUSBハードディスクになります。

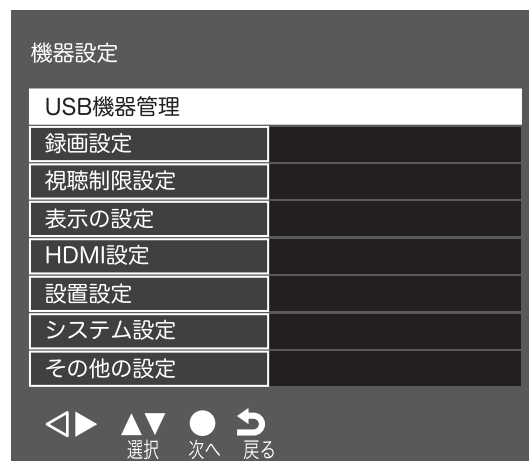


- 録画中および録画予約が設定されているときは、本機やUSBハードディスクの電源プラグやUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機で初期化して登録したUSBハードディスクは本機以外のテレビやパソコンなどでは利用できません。

USB ハードディスクの設定をする

- 登録したUSBハードディスクの設定の変更、取りはずしのための設定および初期化などができます。

1 **X-Box** を押して、「機器設定」→「USB 機器管理」と選ぶ



- USB 機器一覧が表示され、接続状態、表示名、録画可能時間などを確認できます。

2 設定するUSB 機器を▲▼で選び、以降の手順で設定する

USB機器一覧				
機器	接続	モデル名	表示名	モード
1	接続	XXXXXXXXXX	XXXXXX	登録 (録画用)
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

下部には方向キーと「戻る」「取り外し」「機器詳細」「表示名変更」「登録削除」のボタンがあります。

取り外すとき

- **青** (取り外し) を押します。登録した機器を取り外すときは、必ずこのボタンを押します。



- 本機に接続したUSBハードディスクは、必ずこの操作により安全に取り外してください。安全に取り外しを行わなかった場合、次回接続したときに、機器の認識に時間がかかったり、本機の動作が不安定になったりする可能性があります。
- 「登録削除」を行うとUSBハードディスクに録画された番組は再生できなくなります。

■ USB ハードディスクの設定をする

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクごとに設定を変えることはできません。

※「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「ー時間ー分」と表示される場合は、少し待ってから操作してください。

※USBハードディスクによっては、表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。

※USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。

※テレビの電源が「切」や「待機」のときでも「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

- ① **X-1** を押し **▲▼** と **決定** で「機器設定」→「録画設定」→「USB HDD待機」を選ぶ

- ② **▲▼** と **決定** で「オン」か「オフ」を選ぶ

オン USBハードディスクを使用しない状態がしばらく続くと、USBハードディスクの電源が待機状態になります。

オフ テレビの電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常に「入」の状態になります。

USB ハードディスクの取り外し

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするとき、事前に取り外しの操作が必要になります。

- ① **残量** を押す

- ② **▲▼** で取り外すHDDを選択する

- ③ **青** を押した後、「この機器は安全に取り外しできます」と表示が出てからUSBケーブルを本製品から取り外す

録画の基本的な設定をする

録画に使用する機器を設定する

1 **残量** を押す

2 **▲▼** で録画に使用するHDD を選択する

3 **決定** を押すと、モードに録画用と表示される



3 **▲▼** と **決定** で再生に使用するHDDを選ぶ

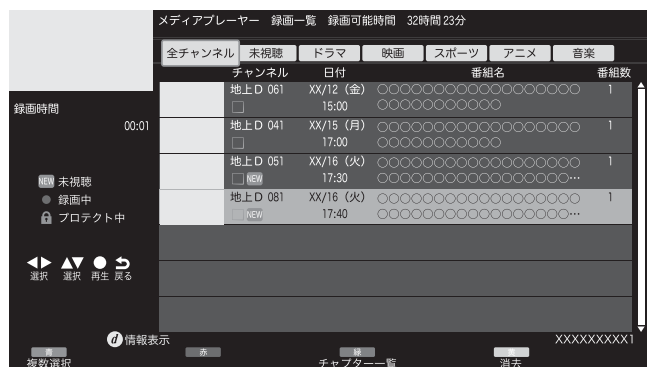
USB機器選択

XXXXXXXXXX1

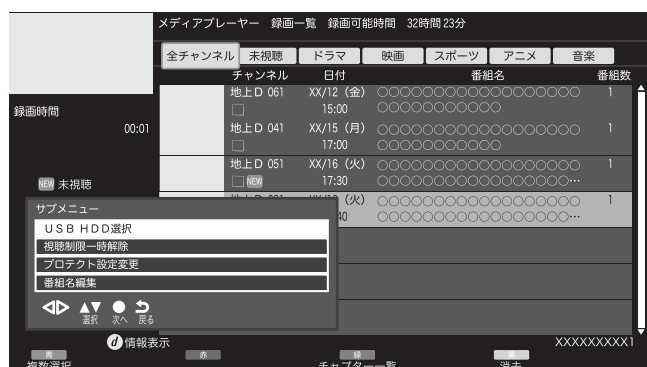
XXXXXXXXXX2

再生に使用する機器を設定する

1 **リスト** → **再生** の順に押す



2 **▲▼** で「USB HDD選択」を選び **決定** を押す



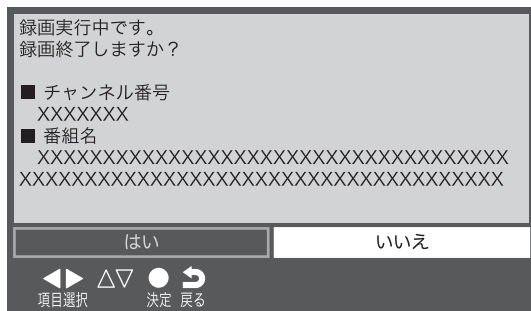
番組を録画する

見ている番組を録画する

- 現在視聴しているデジタル放送番組を録画します。

1 を押すと録画が開始する

2 を押すと録画の終了を確認する画面になるので「はい」を選択する



番組表から録画予約する

1 を押す

2 で録画したい番組を選び、を押す

- 番組表に録画予約済みの赤い  アイコンが表示されます。
- 再度 を押すと予約を取り消すことができます。



- 番組の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。

録画設定の変更

- 「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1 を押す

2 で録画予約した番組を選び、を押す

3 で「設定変更」を選び、を押す

- 「予約削除」を選択すると予約を取り消すことができます。

4 で「詳細設定」を選び、を押す

5 以下の項目から変更したい項目を選んで変更する

予約方式	「見るだけ」「録画」をで選びます。
録画機器	複数のUSBハードディスクを接続しているときに、録画先を選びます。
その他の設定	「録画番組のプロテクト」で録画する番組を消さないよう保護できます。プロテクトされた録画番組は録画一覧に  が表示されます。
時間指定予約へ	録画終了時間を設定できます。

チャプター設定

- 録画した番組にチャプターを自動で作成するかを設定します。

1 を押しと  で「機器設定」→「録画設定」→「オートチャプター」に進む

2 で「オン」「オフ」を選択し を押す



- 本製品ではチャプターを手動で編集することはできません。

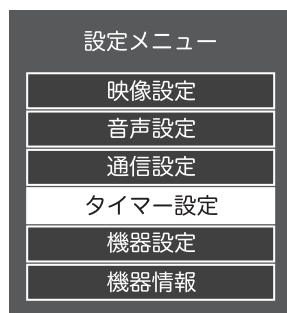
日時を指定して予約をする / 番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 **メニュー** を押す

●設定メニューが表示されます。

2 **▲▼** で「タイマー設定」を選び、**決定** を押す

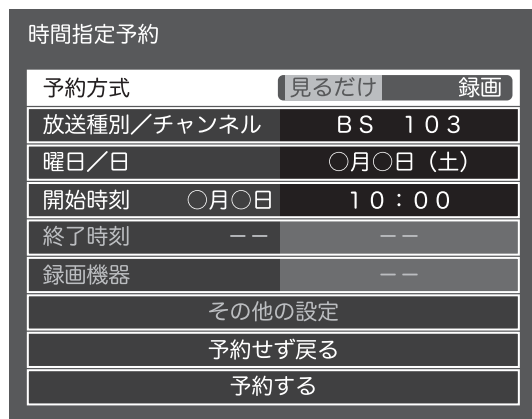


3 **▲▼** で「日時指定予約」を選び、**決定** を押す



●「時間指定予約」画面が表示されます。

4 録画予約の日時やチャンネルを設定する



①設定する項目を**▲▼** で選び、**決定** で日時を設定する。

- ・ 6 週間先まで指定できます。
- ・ 設定できる時間は最大 12 時間です。

②設定が終わったら、**決定** を押す。

5 **▲▼** で「予約する」を選び、**決定** を押す

6 「予約が完了しました。」が表示されたら、**決定** を押す

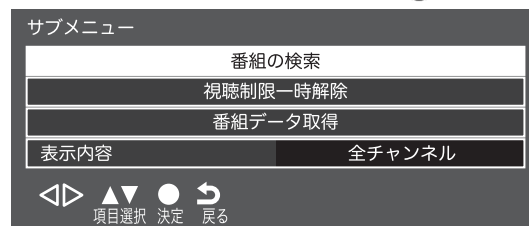
検索条件を指定して番組を探す

●「詳細設定」より録画の設定内容を変更します。

1 放送視聴中に**番組表**を押す

2 **メニュー** を押す

3 **▲▼** で「番組の検索」を選び、**決定** を押す

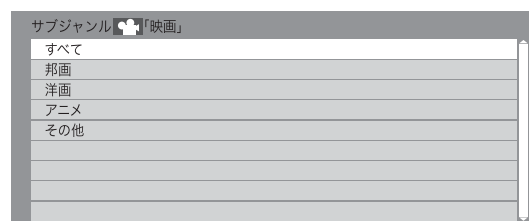


4 **▲▼** で「ジャンル検索」を選び、**決定** を押す

5 検索条件を指定する

① **▲▼** でメインジャンルを選び、**決定** を押す

② **▲▼** でサブジャンルを選び、**決定** を押す



6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を選び、**決定** を押す

7 **▼▲◀▶** で「録画予約／視聴予約」を選び、**決定** を押す

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

録画を中止するとき

- 予約録画と他の録画や視聴予約などが重なった場合、予約録画が優先され、他の録画や視聴予約は正しく保存されません。

優先順 1 位

優先順 2 位

優先順 3 位

予約録画

>

現在番組の録画

>

視聴予約

- 録画終了直後の時刻から始まる番組を視聴予約してもその視聴予約は実行されません。

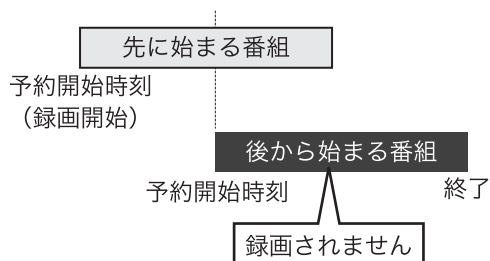
例：8時から9時までの番組を録画している場合

9時からの視聴予約は実行されません。

予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合、後から始まる番組の予約は実行されません。

予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約 15 秒が録画されません。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下ようになります。

予約した番組放送が始まるとき

- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。

予約した番組の放送中

- 予約録画した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 予約録画した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- テレビを通常通りに使用できます。

録画した番組を再生する

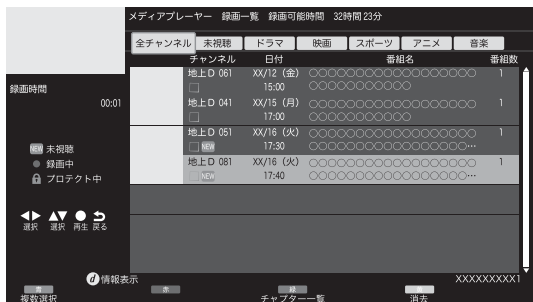
録画番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作

1 **録画一覧**を押す

- 録画一覧が表示されます。



- 録画一覧には、番組の簡単な情報や、USBハードディスクへの録画可能時間などが表示されます。
- 録画一覧には以下のアイコンが表示されます。
 - NEW** 未視聴
 - 録画中
 - プロテクト中**
- **緑** (チャプター一覧)を押すと選んだ番組のチャプター一覧が表示されます。

2 **▲▼**で見たい番組を選び、**決定**を押す

- どこから再生するかを確認画面が表示されたら「続きから再生」「最初から再生」を選び **決定** を押します。
 - ・選んだ番組の再生が始まります。(再生されるまでに時間がかかる場合があります)
 - ・番組の最後まで再生が終わると、そのまま静止状態になり、しばらくすると録画一覧に戻ります。
 - ・再生中にできるリモコン操作については、35ページを参照してください。

3 再生を停止させるには、**停止**を押す

- 録画一覧の画面に戻ります。
- 録画番組の再生を終了するときは、**終了**を押すか、または選局の操作などをします。



- 電源を入れた直後はUSBハードディスクの認識に時間がかかることがあり、すぐに録画一覧が開かない場合があります。その場合は、しばらく待ってから再度録画一覧を開いてください。
- 本機で録画した番組は、本機でのみ再生できます。他のテレビ(同じ形式のテレビも含む)では再生できません。
- USBハードディスクに録画した番組を再生中に、本機やUSBハードディスクの電源プラグを抜いたり(停電なども含む)、USBケーブルを抜き差ししたりすると、本機やUSBハードディスクの故障の原因になります。USBハードディスクの認識不良、録画番組が消去されるなど、本機の動作が不安定になる場合があります。

録画中の番組を再生する

- 録画が終了するまで待たずに、録画中の番組の冒頭から再生します。

1 録画中の番組を録画一覧から選び、**決定**を押す



- 録画開始直後の番組は、録画一覧に表示されるまで少し時間がかかります。

録画番組の情報や番組説明を見る

1 再生中に **画面表示**を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。

2 表示を消すには、もう一度 **画面表示**を押す

録画した番組を再生する

録画番組の再生中にできるリモコン操作



ボタン	内 容
再生 	一時停止や早送り/早戻し再生から通常再生に戻ります。 テレビ番組の視聴中に押すと録画一覧が表示されます。
一時停止/静止 	再生中に押すと一時停止になります。 ・一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
停止 	再生を停止し、録画一覧に戻ります。
早送り 	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
早戻し 	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
30秒スキップ 	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します。
10秒バック 	再生中に押すと10秒ほど戻って再生します。
スキップ 	前のチャプターまでスキップします。
スキップ 	次のチャプターまでスキップします。
残量 	登録済みのUSBハードディスクと録画可能な残量を確認できます。
録画リスト 	録画リストが表示されます。

※録画中の番組を再生する場合、早送りや早戻しなどが正しく動作しないことがあります。
 ※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどによって映像が表示されなくなる場合がありますが、通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

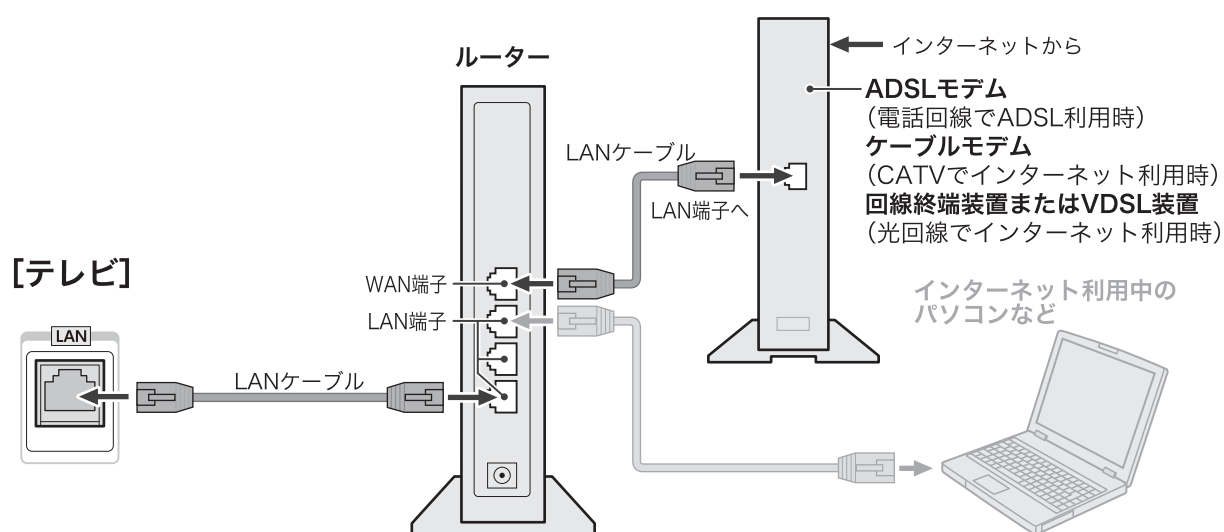
インターネットを利用するための接続をする

テレビをインターネットに接続したときにできること

できること	内 容
データ放送の 双方向サービス	●データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます。 ※テレビは電話回線を利用した双方向サービスには対応していません。

接続のしかた

- インターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。
- すでにパソコンでインターネットを利用している場合は、テレビの LAN端子とルーターのLAN端子を市販の LANケーブルで接続します。
- モデムとルーターが一体化されている場合など、詳しくはそれぞれの取扱説明書をお読みください。



- LANケーブルを抜き差しするときは、テレビと接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- テレビのLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品に接続してください。
- 通信事業者やプロバイダーとの契約費用や利用料金などは、お客様のご負担となります。
- 以下、契約の通信事業者やプロバイダーなどにお問い合わせください。
 - ・契約内容によっては、テレビやパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
 - ・テレビを利用できないことがあります。
 - ・ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
 - ・回線状況によって、うまく通信できないことがあります。



- テレビでは、ルーターやモデムの設定はできません。
- テレビはダイヤルアップ通信やISDN回線などでインターネットを利用することはできません。
- 正しく設定されていない回線にテレビのLAN端子を接続すると、テレビが正常に動作しないことがあります。

インターネットを利用するための設定をする

●本機背面の LAN 端子にネットワークケーブルをつなぐと、双方向通信のデータ放送や独立データ放送などをお楽しみいただけます。ご契約のプロバイダーから設定内容の指定がある場合は、それをもとに「通信設定」をします。

1 設定メニューを押して「通信設定」を選び、

決定を押す

●「通信設定」画面が表示されます。

2 設定メニューで「ネットワーク接続」を選び、

決定を押す

通信設定
ネットワーク接続
ネットワーク状態

3 以下の手順に従って設定する

本機の名称／IPアドレス／DNS設定	
本機の名称変更	Japan TV
IPアドレス	自動取得
IPアドレス	. . .
サブネットマスク	. . .
ゲートウェイ	. . .
DNSアドレス	自動取得
DNS	
プロキシ設定	

本機の名称変更

ネットワーク上で表示する本機の名称を変更したいときに設定します。

IPアドレス

インターネットに接続するために本機に割り当てられる、固有の番号を設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。

① 設定メニューで「IP アドレス」を選び、決定を押す。

② IPアドレスを自動取得できる場合は、設定メニューで「自動取得」を選ぶ。

■IPアドレスを自動取得できないネットワーク環境の場合

① 設定メニューで「手動設定」を選ぶ

② 設定メニューで「IPアドレス」を選び、1～10で入力する

③ 設定メニューで「サブネットマスク」を選び、1～10で入力する

④ 設定メニューで「ゲートウェイ」を選び、1～10で入力する

・②～④では 0 ～ 255 の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。

・設定メニューで選び、1～10で番号入力、訂正、決定で設定完了。

③ 決定を押す。

DNSアドレス

ドメイン名をIP アドレスに置き換える機能を持ち、IP アドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IP アドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNS アドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。DNS アドレスを手動で設定してください。

① 設定メニューで「DNSアドレス」を選び、決定を押す。

② DNSアドレスを自動取得できる場合は、設定メニューで「自動取得」を選ぶ。

■DNSアドレスを自動的に割り当てられないネットワーク環境の場合

① 設定メニューで「手動設定」を選ぶ

② 設定メニューで「DNS」を選び、1～10で入力する

・②では 0 ～ 255 の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。

・欄を移動するには、を押します。

③ 決定を押す。

インターネットを利用するための設定をする

ネットワークに関するお知らせ・用語



■IP アドレス設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能 (IP アドレスを自動的に割り当てる機能) が ON のときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターの DHCP 機能が OFF のときは、「自動取得」を「しない」にし、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器と IP アドレスが重複しないように設定します。(設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません)
- 設定終了後、テレビに設定された IP アドレスとルーターのローカル側に設定された IP アドレスのネットワーク ID 部分がそれぞれ同じであることを確認します。(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)

■DNS 設定について

- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が ON のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- テレビに接続されたルーターの DHCP 機能が OFF のときは、DNS アドレスの「自動取得」を「しない」にし、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します。(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)

■通信設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - (1) LAN 端子の接続状態と「通信設定」を確認する
 - ・正しく接続・設定されているかご確認ください。(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)
 - (2) ネットワーク環境の接続確認
 - ・テレビと同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。(ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します)

■PPPoE 設定について

- テレビでは PPPoE の設定はできません。PPPoE はルーター側に設定してください。(設定にはパソコンが必要です)



■IP アドレス

インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■DNS サーバー

ドメイン名 (xxx.co.jp など) を IP アドレスに置き換える機能を持つサーバーで、テレビでは自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定された DNS アドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します (例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2 サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられる IP アドレスの範囲を限定するためのものです。(例: 255.255.xxx.xxx)

■デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IP アドレスで特定されています。(例: 111.112.xxx.xxx)

■プロキシ

HTTP プロキシサーバーからファイアウォールを越えて通信先のブラウザにデータを高速で送ることができるものです。指定があるときだけ設定してください。(例: proxy.xxx.xxx.xxx)

■MAC アドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

■ チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

●地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。

初期スキャン 「かんたん設置設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。

再スキャン 放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。

初期スキャンをするとき

●受信可能なチャンネルをテレビが探し、ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** に放送の運用規定に基づいて設定します。

1 **メニュー** を押し **▼▲** と **決定** で「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」の順に進む

2 **▼▲** で「地上デジタル」「BS」「CS」を選び **決定** を押す

チャンネル設定

地上デジタル	
BS	
CS	

3 **▼▲** で「初期スキャン」を選び **決定** を押す

設定方法選択

設定を行う前に、地上波アンテナが接続されているか確認してください。次の場合、何も受信しない可能性があります。

- ・アンテナが地上デジタルに対応していない
- ・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない

初期スキャン	
再スキャン	
マニュアル	

4 **◀▶** でお住まいの都道府県や地域を選んで **決定** を押し、**▼▲** で「次へ」を選び **決定** を押す

地域設定

地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要です。地域設定を変更すると、これまでの地上デジタルチャンネル設定が削除されます。これよりチャンネルスキャンを開始します。チャンネルスキャンを中断すると、スキャン内容が無効になりますのでご注意ください。

次へ

地域選択 東京

◀▶ ▲▼ ● ↺
選択 設定変更 戻る

5 **▼▲** で「UHF」を選び **決定** を押す

受信帯域選択

設定を行う前に、地上波アンテナが接続されているか確認してください。次の場合、何も受信しない可能性があります。

- ・アンテナが地上デジタルに対応していない
- ・お住まいの地域で地上デジタル放送が開局していない

UHF

全帯域

6 受信できたチャンネルが表示されます。**終了** で視聴画面に戻ります。

地上デジタルチャンネル設定 / アンテナレベル確認				アッテネーター オフ	
リモコン	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル	
1	011	NHK総合・東京	テレビ	73	高
2	021	NHK Eテレ・東京	テレビ	74	高
3	031	t v k	テレビ	75	高
4	041	日本テレビ	テレビ	79	高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80	高
6	061	TBS	テレビ	76	高
7	071	テレビ東京	テレビ	80	高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80	高
9	091	TOKYO MX	テレビ	67	高
10	101	イッツコムチャンネル	テレビ	56	高
11	111	イッツコムチャンネル	テレビ	76	高
12	121	放送大学	テレビ	72	高

NHK総合・東京 受信レベルは良好です。

◀▶ ▲▼ ● ↺ 戻る (終了)

再スキャンをするとき

●新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **メニュー** を押し **▼▲** と **決定** で「機器設定」→「設置設定」→「チャンネル設定」の順に進む

2 **▼▲** で「地上デジタル」「BS」「CS」を選び **決定** を押す

3 **▼▲** で「再スキャン」を選び **決定** を押す

4 受信できたチャンネルが表示されます。**終了** で視聴画面に戻ります。

■ お買い上げ時の設定に戻すには

●お買い上げ時の設定（工場出荷設定）に戻します。

●テレビの設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

※データ放送の個人情報（住所、氏名、視聴ポイント数など）などについてもすべて初期化されますので、テレビを廃棄する場合や譲渡する場合に行ってください。



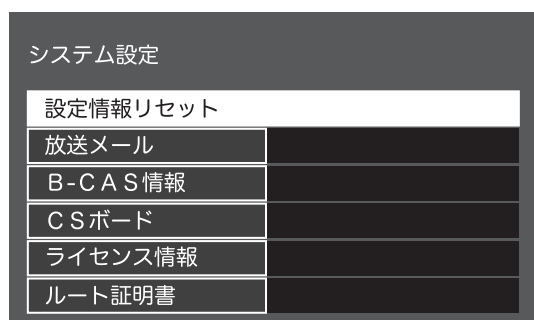
※初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできません。

本機の廃棄を目的に、すべての設定情報を削除します。登録した機器の情報も失われるため、USB HDDに録画した番組は見るができなくなります。

ただし、暗証番号は消去されませんので事前に視聴制限設定で暗証番号を削除してください。

1 **メニュー** を押し「機器設定」→「システム設定」を選び **決定** を押す

2 **▼▲** で「設定情報リセット」を選び **決定** を押す

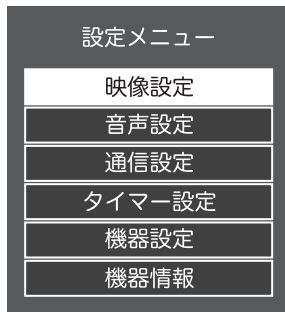


3 **◀▶** で「はい」を選び **決定** を押す

設定メニュー画面

1 メニューを押す

- 設定メニューが表示されます。



- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻るを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

設定メニュー項目

■映像設定

画質動作選択

- シーンに合わせた映像設定が選択できます。選択した設定によって、映像設定中の他の項目が調整できないことがあります。

バックライト

- バックライトの明るさを調整します。数値を上げるほど明るくなります。

コントラスト

- 映像の明暗の差を調整します。数値を上げるほど映像の明暗が強く表示されます。

黒レベル調整

- 画面の暗い部分の明るさを調整できます。数値を上げるほど明るくなります。

色の濃淡

- 色の濃度を調整できます。数値を上げるほど濃くなります。

色あい

- 映像の色合いを調整できます。数値を下げると紫色に、数値を上げると緑色寄りの色になります。

輪郭強調

- 映像の輪郭を調整できます。数値を上げるほど輪郭がはっきりと表示されます。

色温度

- 画面の色温度を調整できます。「低」では暖色系に、「高」では寒色系になります。

動的コントラスト

- 「オン」に設定すると、映像のコントラストが自動で調整されます。

ノイズ低減

- 映像のノイズを減らす処理の効き具合を調整できます。

MPEGノイズ低減

- 映像のノイズのうち、長時間録画など低ビットレート時に発生するノイズを低減する処理の効き具合を調整できます。

高度な設定

- 「入」に設定すると、詳細設定を調整することができます。

詳細設定

- 詳細な調整をすることができます。

「黒伸長」 … 黒レベルのばらつきを調整します。

「ホワイトバランス」 … 赤、緑、青のホワイトバランスを調整できます。ゲインとカットオフを個別に調整できます。

「ガンマ設定」 … ガンマ値を調整できます。

「調整の初期化」 … 詳細設定内の項目を工場出荷時の設定に戻します。

シネマ設定

- シネマリアリティを調整することができます。「オン」に設定すると、毎秒24フレームの映像の表示が調整されます。

画面の設定

- 画面の表示サイズや、映像の端の表示設定を変更することができます。

「画面サイズ切替」 … 画面の表示サイズを変更することができます。

「オーバースキャン」 … 「オン」に設定すると、画面の上下左右端をカットして表示します。

「両横ノイズカット」 … 画面両端にノイズが生じている映像の左右をカットして表示できます。

「垂直位置/大きさ」 … ビデオ入力時に映像の位置と大きさを調整できます。

「4:3映像設定」 … 4:3のアスペクト比の映像の表示サイズを変更することができます。

調整の初期化

- 映像設定内の項目を工場出荷時に戻します。「画面の明るさ」～「MPEGノイズ低減」は現在選択された「画質動作選択」の項目中のみ戻されます。

■音声設定

音声調整

- シーンに合わせた音声設定が選択できます。選択した設定によって、音声設定中の他の項目が調整できないことがあります。

低音

- 低音の量を調整できます。数値を上げるほど低音域が大きくなります。

高音

- 高音の量を調整できます。数値を上げるほど高音域が大きくなります。

イコライザー

- 特定の周波数帯域の音量を調整できます。数値を上げるほど選択した帯域の音量が大きくなります。

バランス

- 音声の左右の出力バランスを調整できます。数値を上げるほど音が偏って出力され、L〇〇のときは左側に、R〇〇のときは右側に音が偏ります。

サラウンド

- 設定を「オン」にすると、ステレオ音声疑似サラウンド音声として出力されます。

ヘッドホン音量

- ヘッドホン端子から出力される音量を調整できます。本体の音量を調節するとヘッドホンの音量も調節されます。

音量自動調整

- 「オン」を選ぶと、音量が自動調整されます。

入力音量補正

- 入力される音量を、各ソースごとに調整できます。

デジタル音声出力(入力切替がテレビのとき)

- 光デジタル端子から出力される音声信号を設定できます。通常は「自動」を選択し、音声が出ない場合に「PCM」、デコーダー内蔵機器と接続した場合に「ビットストリーム」を選択してください。

HDMI音声入力設定(入力切替がHDMIのとき)

- 音声信号の入力ソースを切り替えます。通常は「デジタル」を使用します。「アナログ」を選択するとアナログ入力端子からの音声が出力されます。

音声の同時出力

- 「する」に設定すると、スピーカーとヘッドホン端子に同時に音声が出力されます。

調整の初期化

- 音声設定内の項目を工場出荷時に戻します。「低音」～「サラウンド」は現在選択された「音声調整」の項目中のみ戻されます。

■通信設定

ネットワーク接続

- ネットワーク接続の設定をすることができます。詳細は37ページ「インターネットを利用するための設定をする」を確認してください。

ネットワーク状態

- 現在のネットワーク接続の状態を確認することができます。

■タイマー設定

日時指定予約

- 録画日時を指定して予約することができます。詳細は32ページ「日時を指定して予約をする」を確認してください。

オンタイマー

- 指定した時刻に電源が「入」になります。詳細は23ページ「タイマー設定をする」を確認してください。

無操作電源オフ

- 「オン」に設定すると、約4時間操作がされないと電源がオフになります。

無信号電源オフ

- 「オン」に設定すると、約10分間映像信号がないと電源がオフになります。

■機器設定

USB機器管理

- USBハードディスクの接続設定をすることができます。詳細は28ページ「USBハードディスクの設定をする」を確認してください。

録画設定

- 録画時の設定を変更することができます。
- 「自動予約」 … 「オン」に設定すると、録画予約時に次回放送の予約の設定ができます。
- 「録画ボタン設定」 … リモコンの録画ボタンを押した際に録画が終了するまでの時間を設定できます。
- 「オートチャプター」 … 「オン」に設定すると録画した番組にチャプターを自動で作成します。
- 「USB HDD待機」 … 「オン」に設定すると、USBハードディスクをしばらく使用しないとUSBハードディスクの電源が待機状態になります。詳細は29ページ「省エネ設定」を確認してください。

視聴制限設定

- ペアレンタルコントロールの年齢制限を設定することができます。初回設定時に、4桁の暗証番号を2回入力します。
- 「暗証番号設定」 … 番号を再設定することができます。
- 「視聴年齢制限設定」 … 制限年齢を4歳～19歳、無制限から選択できます。
- 「暗証番号削除」 … 暗証番号を削除することができます。

表示の設定

- 画面に表示される項目を設定することができます。
- 「字幕の設定」 … 字幕、文字スーパーのオン、オフと表示する言語の設定をすることができます。
- 「入力表示」 … 外部接続機器の種類を表示することができます。「使用しない(スキップ)」を選択すると入力切替画面で表示されなくなります。
- 「タイトル表示」 … 「オフ」に設定すると表示チャンネルを変更した際に番組名が表示されなくなります。
- 「時計表示」 … 「オン」に設定すると、画面左下に現在時刻が表示されます。

HDMI設定

- HDMI連動(CEC)を設定することができます。使用する場合は外部入力機器のHDMI連動設定を有効にしてください。
- 「HDMI連動」 … 「オン」に設定するとHDMI連動機能が動作し、テレビのリモコンで外部機器を操作したり、電源操作に連動させたりできます。
- 「電源入連動」 … 「オン」に設定すると、外部機器の電源を入れた際に連動してテレビ本体の電源が入ります。
- 「電源切連動」 … 「オン」に設定すると、テレビ本体の電源を切ったときに連動して外部機器の電源が切れます。
- 「自動切」 … 「オン」に設定すると、連動設定した外部機器と異なる入力ソースに切り替えた際に外部機器の電源が自動で切れます。
- 「レコーダ操作」 … 「拡大」に設定すると、テレビのリモコンで操作できるボタンが拡張されます。

かんたん設定

- お買い上げ後の初期設定を再度行えます。詳細は16ページ「かんたん設置設定」についてを確認してください。

設置設定

- テレビの設置時の設定をすることができます。
- 「受信対象設定」 … BS放送、CS放送を受信するか設定できます。受信する場合は「使う」を選択してください。
- 「チャンネル設定」 … チャンネル設定の修正をすることができます。こちらで地上デジタル放送の再スキャンを行うこともできます。
- ・「初期スキャン」を選択すると、現在のチャンネル設定を破棄して再度スキャンします。
- ・「再スキャン」を選択すると、受信できる放送局が増えた際にチャンネル設定が追加されます。
- ・「BS放送」「CS放送」「マニュアル」を選択すると、手動でチャンネルとボタンの割り当て設定ができます。

リモコン	CH1	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ・東京	テレビ
3	031	t v k	テレビ
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ
6	061	TBS	テレビ
7	071	テレビ東京	テレビ
8	081	フジテレビジョン	テレビ
9	091	TOKYO MX	テレビ
10	101	イッツコムチャンネル	テレビ
11	111	イッツコムチャンネル	テレビ
12	121	放送大学	テレビ

- 「地域設定」 … テレビを設置している場所の修正をすることができます。
- ・「県域設定」 … データ放送で使用されます。
- ・「郵便番号」 … データ放送の天気予報などで使用されます。

受信設定

- 放送電波の受信強度について確認や設定ができます。アンテナの位置や向きを調整するときに使います。

受信状況	NHK総合・東京	受信中
受信レベル	現在	60 最大 61

- 「地上」 … 地上デジタル放送の受信強度の確認ができます。
- ・「アッテネータ」を「オン」に設定すると、信号が強すぎるときに受信強度を下げるすることができます。
- ・「物理チャンネル」を変更すると受信チャンネルが切り替わります。
- 「衛星」 … 衛星放送の受信強度の確認ができます。
- ・「アンテナ電源」を「オン」にすると本体からBS/CSアンテナ用の電源が供給されます。
- ・「トランスポンダ」、「衛星周波数」は放送局からの案内がある場合を除き変更しないでください。

高速起動

- 「入」に設定すると、起動時間が高速化します。
- ・「入」に設定されている間、待機電力が増加します。

B-CASテスト

- miniB-CASカードのテストをすることができます。

機器情報

設定情報リセット

- 工場出荷時の設定に戻します。詳細は40ページ「お買い上げ時の設定に戻すには」を確認してください。

放送メール

- 放送局からのお知らせやダウンロードの情報を見ることができます。

B-CAS情報

- miniB-CASカードの番号や情報を確認することが出来ます。

CSボード

- 110度CS放送の情報が表示されます。

ライセンス情報

- 「ソフト情報表示」を選択するとテレビに使用しているアプリケーションの情報が表示されます。

ルート証明書

- 地上デジタル放送の双方向通信サービスを使用しているときに使用されたサーバーのルート証明書の情報を確認することができます。

その他の設定

文字入力設定

- 文字を入力する際の方式を設定することができます。詳細は24ページ「文字を入力する」を確認してください。

選局対象

- リモコンの  で選局できる範囲を設定できます。

- 「設定チャンネル」 … リモコンの数字ボタンに割り当てられたチャンネルのみ選局されます。
- 「テレビのみ」 … テレビ放送のチャンネルのみ選局されます。
- 「全チャンネル」 … 放送されている全てのチャンネルが選局されます。

サブメニュー画面

1 機能を押し

- サブメニューが表示されます。



- メニューを表示したまま一定の時間が経過すると、自動的にメニュー表示が消えます。
- 戻るを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

サブメニュー項目

■テレビ放送

HDMI機器設定

- HDMI接続された機器について設定することができます。

「HDMI機器選択」… HDMI機器を選択します。

「スピーカー選択」… 音声出力をテレビ本体から出すか接続機器から出すか選択します。

オフタイマー

- オフタイマーの時間設定が「90分」「60分」「30分」「オフ」から設定できます。詳細は23ページ「オフタイマー」を確認してください。

予約一覧

- 録画予約のリストが表示されます。赤 ボタンを押すと自動録画予約一覧に変更します。予約を取り消す場合は 黄 ボタンを押します。
- 再度 機能を押しと「視聴制限一時解除」、「全履歴削除」が選択できます。



「視聴制限一時解除」… 視聴制限を設定している場合、暗証番号を入力することで一時的に解除することができます。

「全履歴削除」… 予約実行済の履歴を全て削除します。

チャンネル設定

- リモコンのチャンネル割り当てが設定できます。「設置設定」のボタン割り当て設定画面を確認してください。

3桁入力選局

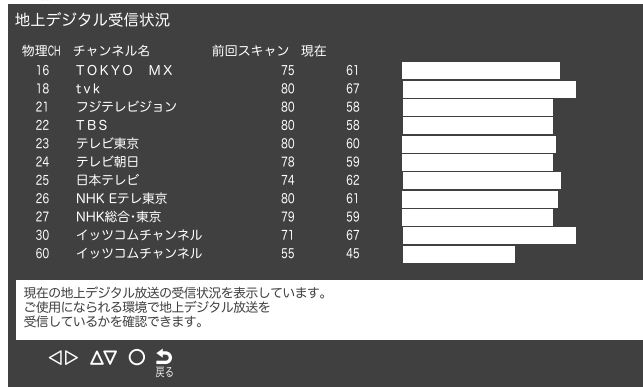
- チャンネル番号を直接入力して選局することができます。詳細は18ページ「チャンネル番号を入力して選局する」を確認してください。

視聴制限一時解除

- 視聴制限を設定している場合、暗証番号を入力することで一時的に解除することができます。

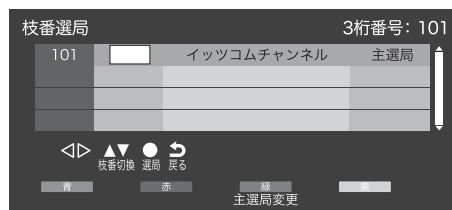
アンテナレベル

- 受信している放送局のアンテナ強度を確認することができます。
- 決定 ボタンを押すとすべての放送局が一覧で表示されます。



枝番選局

- 枝番チャンネルがあるとき、選局をすることができます。



信号切替

- 放送に複数の信号があるときに切り替えることができます。詳細は22ページ「他の映像・音声・データを切り替える」を確認してください。

データ放送表示切

- データ放送表示中に、データ放送表示を終了することができます。

■外部入力

HDMI機器操作

- HDMI連動機器の操作をすることができます。接続機器によって動作が異なる場合があります。
「番組選択」「ドライブ切替」「画面表示」「電源」「予約一覧」「リンクメニュー」「番組表」「セットアップメニュー」を操作できます。
「AVシステム操作」は加えて「セットアップメニュー」「入力切替」「画面表示」の選択ができます。

HDMI機器設定

- テレビ放送のサブメニュー「HDMI機器設定」と共通です。

オフタイマー

- テレビ放送のサブメニュー「オフタイマー」と共通です。

予約一覧

- テレビ放送のサブメニュー「予約一覧」と共通です。

■番組表

番組の検索

- 番組の検索をすることができます。詳細は32ページ「検索条件を指定して番組を探す」を確認してください。

視聴制限一時解除

- テレビ放送のサブメニュー「視聴制限一時解除」と共通です。

番組データ取得

- 番組データを取得します。

表示内容

- 番組表に表示する内容を設定できます。
「全チャンネル」 … 全てのチャンネルを表示します。
「設定チャンネル」 … リモコンのボタンに割り当てられたチャンネルのみ表示します。
「テレビのみ」 … テレビ放送のチャンネルのみ表示します。

■録画リスト

USB HDD選択

- 再生するUSBHDDを切り替えることができます。

視聴制限一時解除

- テレビ放送のサブメニュー「視聴制限一時解除」と共通です。

プロテクト設定変更

- 削除防止のプロテクト設定を掛けた番組について設定変更ができます。

番組名編集

- 録画データの番組名を編集できます。

故障かな…？と思ったら

つぎのような場合は故障ではないことがあります。修理をご依頼になる前にもう一度ご確認ください。

こんな場合は故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点がある
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする
部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- 本機の内部から「カチッ」という音がする
本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

全般

症状	原因や対処のしかた
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ → 電源コードの接続を確認してください。
リモコンが操作できない	• リモコンを受光部に向けていますか？ • お部屋の蛍光灯の強い光がリモコン受光部にあたっていませんか？ → リモコン受光部に強い光を当てないでください。 • 乾電池が消耗していませんか？ → 新しい乾電池に交換してみてください。 • 乾電池の極性（＋－）が逆になっていませんか？ → 正しく入れ直してください。 • テレビ本体の電源ボタンでオフにしていますか？ → テレビ本体の電源ボタンをオンにしてください。
突然電源が切れた	• スリープタイマーを設定していませんか？ → スリープタイマーの設定を確認してください。

■ トラブルシューティング

故障かな…？と思ったら

映像

症状	原因や対処のしかた
映像が出ない	• アンテナは正しくつながっていますか？ → アンテナの接続を確認してください。 • 輝度は正しく調整されていますか？ → 画面の輝度の調整をし直してください。
AV 映像が出ない	• 外部機器と正しく接続されていますか？ → 外部機器の接続と電源を確認してください。
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ → 電源コードの接続を確認してください。 • 電源は入っていますか？ → 電源を入れてください。 • 放送モード以外の入力モードになっていませんか？ → 放送モードに設定してください。
映像も音声もノイズしか出ない	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？
映像や音声が出なくなる、または時々出なくなる 映像が静止する、または時々静止する	• アンテナの向きが、風や振動によって変わっていませんか？ → アンテナを調整してください。 • アンテナ線の劣化が考えられます。 • 着雪（アンテナ）、雨、雷雨などによる電波の減衰や、強風時のアンテナの揺れなどが考えられます。雷雨や豪雨の中では、受信電波が弱くなり、また雪がアンテナに積もると受信状態が悪くなるため、一時的に映像や音声が止まったり、ひどいときにはまったく受信できなくなったりすることがあります。天候の回復を待ってください。
映りが悪い	• アンテナケーブルが正しく接続されていますか？ • 電波状態が悪いことが考えられます。
色合いが悪い、色が薄い	• 色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
画面が暗い	• 明るさは正しく調整されていますか？ → 画面の輝度の調整をし直してください。
接続した機器の映像がでない	• 外部機器は正しく接続されていますか？ → 外部機器の接続と電源を確認してください。 • 入力切替は合っていますか？ → リモコンまたは本体の多機能電源ボタンの入力切替操作で、入力を切り換えてください。

音声

症状	原因や対処のしかた
音が出ない	• 音量が最小になっていませんか？ • 「消音」状態になっていませんか？ • イヤホンが接続されていませんか？

■ トラブルシューティング

故障かな…？と思ったら

デジタル放送

症状	原因や対処のしかた
地上デジタル放送が受信できない	• miniB-CASカードは正しく挿入されていますか？ →挿入方向を確認して、カチッと音がするまで挿入してください。 • 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか？
BS/110度CSデジタル放送が受信できない	• 付属のminiB-CASカードを挿入しましたか？ →他のテレビに付属のminiB-CASカードをお使いの場合は、BS/110度CSデジタル放送が受信できないことがあります。必ず本機に付属のminiB-CASカードをお使いください。
110度CSデジタル放送が受信できない	• 110度CSデジタル放送に対応したアンテナやケーブルをお使いください。
引越したら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• サブメニューを押し、テレビ設定の設置設定→受信設定→地上スキャンをやり直してください。
番組表が表示されない 表示されるチャンネルが少ない	• お買い上げ時、または長時間電源を切った状態のあとは、番組表の表示に時間がかかる場合があります。しばらく視聴すると表示されます。

録画

症状	原因や対処のしかた
HDDが認識されない	• HDDが正しく接続されていますか？ →USBハブを経由した場合は対応できません。 • HDDが本機に登録されていますか？ →HDDを本機に登録してください。
録画できない	• HDDの電源は入っていますか？ →電源オンが必要なHDDの場合は、電源をオンにしてください。 • HDDの空き容量が不足していませんか？ →不要な番組を削除してください。 • 録画できない映像ではありませんか？ →コピー禁止の番組や、独立データ放送、外部入力からの映像、音声は録画できません。 • 放送開始時刻が変更されていませんか？ →予約番組の放送時間が変更またはキャンセルされた場合、録画されない可能性があります。サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。
録画した番組が再生できない	• 本機で録画した番組は、本機以外ではご覧になれません。

■ 保証とアフターサービス

修理を依頼される前に P.46 ～ P.48 の「故障かな?と思ったら」をよくお読みいただき、症状を確認してください。確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げ店または弊社サービスセンターにご相談ください。

■アフターサービスについて

保証書を必ずご確認ください

別途添付してあります保証書については、必ず「お買い上げ日」と「販売店名」の記入があることを確かめてからお買い上げ店よりお受け取りください。

また、内容をよくお読みのうえ、保証書と製品本体裏面の製造番号をお確かめいただき、大切に保管してください。保証期間はご購入日から 1年間 です。

保証書を紛失された場合や保証書に「お買い上げ日」と「販売店名」の記入がない場合は保証の対象外となります。ご了承ください。

修理をご依頼される場合

本書の P.46 ～ P.48 の「故障かな?と思ったら」に従って症状を確認いただき、

それでも症状が改善されない場合は、まず電源プラグを抜いて

お買い上げの販売店もしくは弊社サービスセンターにご連絡ください。

○保証期間中は保証書の規定に従って、修理させていただきます。

○保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる場合、ご希望により有償にて修理させていただきます。

<修理を依頼されるときにご準備いただきたい内容>

- ・ご住所／ご氏名／お電話番号
- ・製品名／型番／お買い上げ日／お買い上げ店
- ・故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

個人情報の取扱いについて

- ・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を遵守させますので、ご了承ください。

スカイワースジャパンエレクトロニクス合同会社

対象地区：東日本（北海道・東北・関東・甲信越・静岡）

東京サービスセンター

受付時間 9：00～17：30（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）

住 所 〒192-0363 東京都八王子市別所1-18-10

T E L 042-679-5402 F A X 042-679-5406

対象地区：西日本（中部・近畿・中国・四国・九州・沖縄）

大阪サービスセンター

受付時間 9：00～17：30（土日祝日、年末年始、当社休業日を除く）

住 所 〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3-2-43

T E L 06-6746-3373 F A X 06-6746-3374

<https://skyworthjapan.com/support-skyworth/>



■ 主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。

This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

画面サイズ	40V型
アスペクト比	16:9
液晶パネル方式	VA
画素数(水平×垂直)	1920×1080
輝度	230cd/m ²
コントラスト比	5000:1
応答速度	9.5ms(GtoG)
バックライト搭載方式	直下型LEDバックライト
視野角	左右178°/上下178°
スピーカー	8W+8W
チューナー	地上デジタル×2 BS・110度CSデジタル×2
受信チャンネル	VHF(1～12ch)、UHF(13～62ch)、CATV(C13～C63) BS Digital +CS Digital : 1032～2071MHz
入力端子	地上デジタル用 F型端子(75Ω)×1 CS/BSデジタル用 F型端子(75Ω)×1 コンポジットビデオ入力(3.5mm 4極端子×1) HDMI端子×2 データ放送用LAN端子×1 録画HDD用USB2.0端子×2 B-CASカードソケット (mini B-CASカード用) ×1
出力端子	音声光デジタル出力 (S/PDIF出力端子)×1 ヘッドホン用3.5mm音声出力端子×1
外形寸法(幅×高さ×奥行) ※スタンド含む	909×564×212 (mm)
重量	約5.0kg
VESAマウントインタフェース	200mm×200mm ねじM6×25mm(上部)、M6×15mm(下部)
動作温度範囲	0～40℃
動作湿度範囲	20%~80%(結露なきこと)
保管温度範囲	0℃～45℃
保管湿度範囲	20%～80%(結露なきこと)
使用電源	AC100V(50Hz/60Hz)
省エネ法 区分	DF1
定格消費電力(待機時)	74W(0.5W)
年間消費電力量	83.3kWh/年
保証期間	1 年間

※製品改善の為予告なく外観、仕様を変更する場合がありますので、ご了承ください。

■CATV(ケーブルテレビ)でデジタル放送をご覧のお客様は、ご契約されているケーブルテレビ会社の伝送方式をご確認ください。
各ケーブルテレビ会社によって、伝送方式が異なります。

■本取扱説明書に記載されている企業名、製品名等は各社の商標または登録商標です。
また、商標及び登録商標に関して特に注記のない場合でも、これを尊重します。

登録商標とライセンス

HDMI

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

保証書

保証書				出張修理	
型番			製造番号		
お客様	お名前				
	ご住所 〒				
	電話番号 () -				
お買い上げ日			取扱販売店名・住所・電話番号		
年 月 日					
保証期間 (お買い上げ日から)					
本体 1 年間					

- お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
 - 販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上、保証書をお客様へお渡しください。
- ① 本保証書は日本国内で使用される場合のみ適用されます。
This warranty is valid only in Japan.
- ② 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- ③ お客様にご記入いただいた住所等の情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ④ この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

< 無料修理規定 >

- 保証期間内に故障して無料修理を依頼する場合は、商品と本書をご用意の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理あるいは修理が不可能な場合、同等製品との有償交換となります。
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名など必要事項の記入や押印がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、結露や水濡れあるいは不当な改造、修理、加工による故障および損傷。（取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、責任を負いません。）
 - お買い上げ後の取付場所の移動、輸送、落下、衝撃などによる故障および損傷。
 - 業務用・商業用による使用や車両、船舶などに搭載して使用した場合に生じた故障や損傷。
 - 火災、塩害、ガス害（硫黄ガスなど）、地震、落雷、津波および風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因による故障および損傷。
 - 錆、カビ、過度な汚れなどによる故障や損傷。
 - 虫などの動植物や、タバコの煙、ゴミ、埃などの異物混入による故障や損傷。
 - 天吊り、壁への埋め込みなど修理が不可能な場合。
 - LCD（液晶）パネル（0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素）およびバックライト（焼き付き、輝度の低下など）の経年劣化による不具合。

- ⑩ 故障の原因が本機以外（通信・受信環境、あるいは接続している機器およびケーブル類など）の製品にある場合。
- ⑪ 本機の使用または使用不能による付随的な損害に関して、保証・補償いたしません。（万一録画出来なかったり、録画内容やデータが損失した場合など）

- ※ 環境保護等を推進するため、弊社の判断により修理の際に再生部品または代替部品を使用することがありますので、あらかじめご了承ください。また、修理後、交換した部品は弊社が任意にお引き取りさせていただきます。
- ※ 製品交換となる場合の弊社からお届けする交換品は、弊社にて分解、クリーニング、消耗・不具合部品の交換、再調整など行った新品同等の機械的、電氣的に動作確認を行った交換製品となります。
- ※ 本保証書にもとづく無料修理（製品交換含む）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
- ※ この製品の補修用性能部品は製造打ち切り後8年保有しています。

スカイワースジャパンエレクトロニクス合同会社
〒577-0012 大阪府東大阪市長田東3-2-43

【お問い合わせ先】

東京サービスセンター ☎042-679-5402
大阪サービスセンター ☎06-6746-3373

SKYWORTH

スカイワースジャパンエレクトロニクス合同会社